

足利大学

工学部 看護学部

2025 年度版

授業宅配便 ・ 大学見学会 申込案内

各種講習会・研修会講師派遣 申込案内



工学部 大前キャンパス 〒326-8558 栃木県足利市大前町 268-1
看護学部 本城キャンパス 〒326-0808 栃木県足利市本城 3-2100-1

申込受付

足利大学アドミッションセンター TEL 0284-22-5622
FAX 0284-62-9122

足利大学では教職員が中学校・高等学校等に伺い授業を行ったり、大学構内の見学を随時受け付けています。是非、ご活用ください。お申込みの際は、TEL・FAX・電子メールで、アドミッションセンターまで、ご連絡をお願いします。

申込受付

TEL 0284-22-5622

FAX 0284-62-9122

申込用紙に記入し、FAXしてください。

電子メール 学校名・希望日時・希望内容・ご担当者等記入し

hucc@g.ashikaga.ac.jp まで、送信してください。

授業宅配便・大学見学・講習会 申込 FAX 用紙

【送付先FAX 0284-62-9122 足利大学アドミッションセンター】

この用紙のみ、ご送付ください

学 校 名		
対象生徒	科・コース 年 人	
担 当 者	担当者氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	@
依頼区別	該当するところを○で囲んでください 授業宅配便 大学見学 講習会 その他	
実施希望日	授業宅配便 講習会	年 月 日 () 時 分 ～ 時 分
	大学見学	年 月 日 () 大学到着 時 分 大学出発 時 分
通 信 欄	希望する分野・テーマ名等を記入して下さい。	

工学部 創生工学科

＝機械分野＝

形状記憶合金カーを走らせよう！！ 小林 重昭 教授
不思議な液体を利用してパソコンの頭脳（CPU）を冷やすシステムの開発 櫻井 康雄 教授
水素を貯める金属：水素吸蔵合金 松下 政裕 教授
材料を「切る・削る」ことを科学する 藤本 正和 准教授
ロボット工学から見た人間の運動の不思議 越智 裕章 講師
自然エネルギーと SDGs（持続可能な開発目標） 根本 泰行 教授
振動水柱型波力発電と波力発電用ウェルズタービン 飯野 光政 准教授
再生可能エネルギーの利用技術 出井 努 准教授

＝電気電子分野＝

電磁界を用いたワイヤレス給電の原理とその応用 土井 達也 教授
圧電セラミックスとその応用 土信田 豊 教授
先端半導体マイクロプロセッサの仕組みと冷却 西 剛同 教授
磁石なんでも講座 横山 和哉 教授
モータの位置制御とその応用 上田 伸治 准教授
解析的手法を用いた電磁波散乱問題の理論モデルの解析 長坂 崇史 講師

＝システム情報分野＝

がん治療と情報技術 木村 彰徳 教授
最先端天文学で活用されるデータサイエンス 塚越 崇 准教授
炭素材料の開発における画像解析の活用 秋山 寛子 講師
遺伝的アルゴリズムの工学的応用 田口 雄章 講師
「察するコンピュータ」を目指して 平石 広典 教授
浸水避難を対象とした「流れ」のシミュレーション 廣川 雄一 教授
歯車と AI 松木 洋 講師
データ解析に基づいた新型センサの開発研究 宮田 恵理 講師
未来を創る魔法を解き明かす！情報システムの世界 采澤 陽子 助教

＝建築・土木分野＝

エコリフォーム ～省エネ、健康な住宅の設計法～ 齋藤 宏昭 教授
地震に強い構造物とは？ 仁田 佳宏 教授
建設分野の ICT -先端技術を体験してみよう- 仁田 佳宏 教授
省エネで健康・快適に生活できる住宅の作り方 室 恵子 教授

近代以降の日本の住まい 渡邊 美樹 教授

ドローンと3D技術で「瓦礫の山」を見える化！

～地震後のまちを早く元に戻すために～ 王 欣 教授

空間が人間へ与える影響とは？ 藤谷 英孝 教授

まちの風景をつくる建築 大野 隆司 教授

建物の“ゆれ”を見てみよう 刑部 徹 講師

土の建築体験 中村 航 講師

水のちから。人の知恵。 長尾 昌朋 教授

身近にある砂と粘土の実験 西村 友良 教授

道路の整備効果、舗装の最新技術まで 藤島 博英 講師

コンクリートとは（歴史・技術進歩、さまざまなコンクリートの開発） 松村 仁夫 助教

＝共通教育センター＝

使える英語を身に付けよう 飛田 ルミ 教授

スポーツ・コンディショニング 吉田 弘法 教授

コンピュータでことばを分析してみよう 嶋田 和成 教授

インターネットで英語はどこまで学べる？ 清水 尚 准教授

はじめてのアラビア文字 - 文字を通して文化と歴史を知る 俵 章浩 准教授

「作者が言いたいこと」ではなく…… 西田 将哉 講師

色が変わる実験 加治屋 大介 教授

体験しよう！氷点下の世界：極低温における物質の状態変化 高橋 大輔 教授

お肉とお魚は、どちらが健康的？遺伝子検査・解析からこんなにわかる！

須永 浩章 准教授

勉強ってしなきゃダメですか？ ⇒ しなくてもいいと思うけど……………！！

橋本 哲 准教授

柔らかい頭で“同じ”という概念を考え直してみよう 松崎 尚作 准教授

非ユークリッド幾何学入門 棕野 純一 講師

平面を敷き詰める模様の数学 雪田 友成 講師

＝教職課程センター＝

工業高校の先生になるには 持田 雄一 教授

保健室の先生になるには 池田 法子 講師

看護学部 看護学科

備える 防災・減災対策として救急救命法を学ぼう 青山みどり 教授、渡邊佳奈 助教

備える 防災・減災対策として災害リュックの中身を使ってみよう

青山みどり 教授、渡邊佳奈 助教

備える 防災・減災対策として災害時の手当てについて学んでみよう

青山みどり 教授、渡邊佳奈 助教

謎解きから始まる“看護”の世界

～床ずれってなんでできる？を科学する～ 齋藤みどり 教授

看護師の仕事に触れてみませんか

中村史江教授 末永弥生教授 小谷千晴 講師 鈴木早智子講師

リラクセーションを促す技術：アロマセラピー

佐藤栄子 教授、鈴木明美 准教授、茂木英美子 講師、渡邊佳奈 助教

生活習慣病と予防に効果的な運動習慣

佐藤栄子 教授、鈴木明美 准教授、茂木英美子 講師、渡邊佳奈 助教

キラリ！看護の仕事と医療安全 中村 史江 教授

看護専門職「保健師」の仕事とは？ 沼田 加代 教授

災害と感染症対策を担う保健師の役割 沼田 加代 教授

アサーショントレーニング 富山 美佳子 准教授

災害を乗り越える力、レジリエンスを高めよう 富山 美佳子 准教授、宮武 陽子 講師

子どもは大人とどう違うの？ 子どもと大人の体のしくみの違いを体験してみよう！

松井 貴子 准教授

子どもの成長を体験してみよう！子どもの身近に潜む危険を知ってみよう！

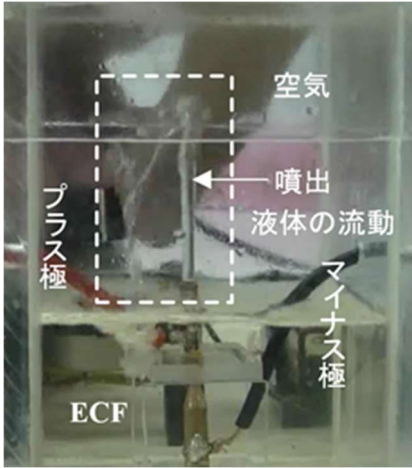
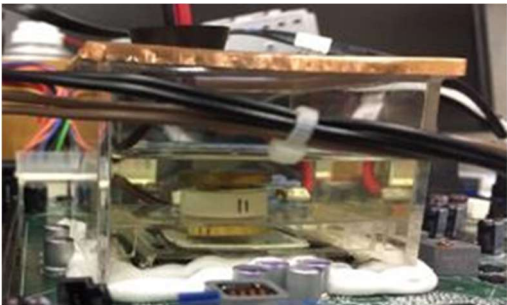
松井 貴子 准教授

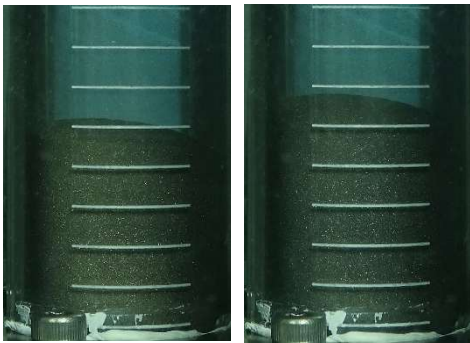
柔らかな心を目指す 認知療法トレーニング 宮武 陽子 講師

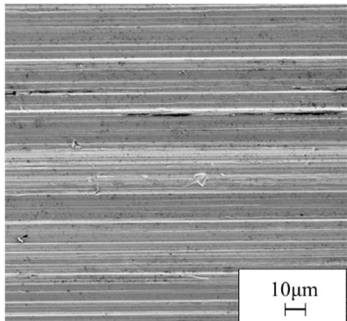
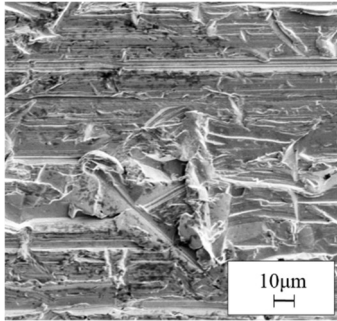
看護師にとって最も基本的な技術に触れてみよう！ 鈴木 早智子 講師

いのちを育む人々を支える ～母性看護に触れてみよう☆～ 横山 文子 助教

テーマ名	形状記憶合金カーを走らせよう！！		
担当教員	小林 重昭 教授		
学部：分野	工学部：機械分野(機械工学コース)		
内 容	本授業では、はじめに機械材料の研究の魅力を知ってもらうため、お湯につけると元の形状に勝手に戻る「形状記憶合金」を使ったミニ実験を行います。モーターもエンジンも積んでいないのにお湯だけで走る「形状記憶合金カー」を実際に走らせて、形状記憶合金を使った機械の駆動に関するデモンストレーションを行います。 次に、実際に多くの機械材料や構造モデルを手で触って、金属材料の成り立ちや、形状記憶合金がどのようにして元通りの形に戻るのかを学習してもらいます。授業時間によっては、タイタニック号の沈没や旅客機の空中爆発事故など、歴史的大事故の原因について、機械材料学の観点から詳しくお話します。 ※大学見学では 1年生が入学してすぐの導入科目「フレッシュマン・ゼミ」でのモノづくり体験で作製した個性あふれる「形状記憶合金カー」を実際にさわって、走らせてみるができます。見学時間によっては、先端材料の開発、材料の破壊原因の解明に関する大型実験装置の見学、電子顕微鏡観察等を体験できます。 その他 授業時間によっては「ガンダム」のような巨大ロボットの実現の可能性について機械材料学の観点からお話します。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。		
写真・画像	  電子顕微鏡（FE-SEM）による材料組織の観察もできます。		
対象生徒	全高中校生を対象（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）		

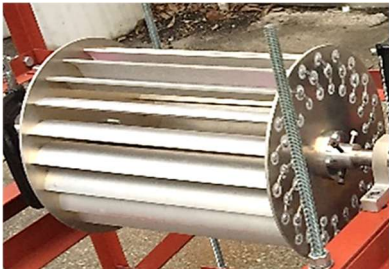
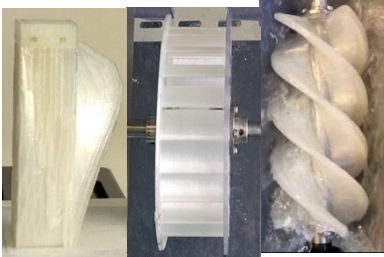
テーマ名	不思議な液体を利用してパソコンの頭脳(CPU)を冷やすシステムの開発
担当教員	櫻井 康雄 教授
学部：分野	工学部：機械分野(機械工学コース)
内 容	機械工学の流体分野の研究です。パソコンはその頭脳である CPU の冷却で困っています。現在はファンを使用し空気で冷やしていますが、この冷やし方は限界を迎えつつあります。これは空気が吸収できる熱の量が液体に比べて小さいためです。 そこで私の研究室では、電気をかけると流れる不思議な液体である電界共役流体(ECF)に着目しました。この現象に着目すると、この液体を流すことができるコンパクトなポンプが開発できます。さらに、この液体は絶縁性であるという点に着目し、CPU を直接この液に浸して冷却する液浸冷却システムを構築しました。この授業ではこの最先端液冷システムの開発についてわかり易く説明します。 ※大学見学では 電界共役流体が電気をかけるだけで本当に流れるのか観察できます。さらに、CPU を直接この液に浸して冷却する液浸冷却システムを搭載した PC での実験の様子を見学できます。さらに、他の実験テーマ（油圧素子の開発，電気－空気圧ハイブリッドシステム等）の実験の様子も見学もできます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 電界共役流体 ECF の流動の様  最新の ECF 用ポンプ (大学院生が学会で発表、  研究室で開発した液浸冷却システム (CPU を ECF で直接冷却)
対象生徒	工業高校機械科系、普通高校(理)の生徒（普通高校・工業高校）

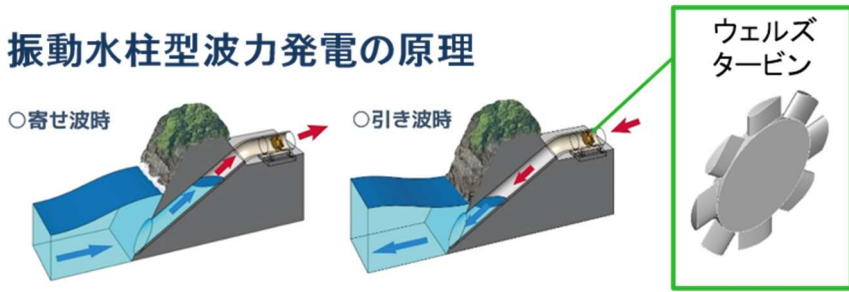
テーマ名	水素を貯める金属:水素吸蔵合金	
担当教員	松下 政裕 教授	
学部：分野	工学部：機械分野(機械工学コース)	
内 容	水素がエネルギー循環の中心的役割を果たす「水素エネルギー社会」の確立のためには、水素の貯蔵が重要な課題となっています。現状では、万能な水素貯蔵方法は見つかっていないため、様々な貯蔵方法を使い分けることが必要と考えられています。なかでも、水素吸蔵合金を使用した水素貯蔵方法は、安全性を重視した用途で、有望視されており、企業との共同研究で商品化もできています。 この水素吸蔵合金について、水素を吸蔵したり、放出したりする様子の映像を使って、わかりやすく説明します。また、水素吸蔵合金は粉体（粉々の状態）で使用され、水素吸蔵時に発熱し、水素放出時に吸熱します。そこで、この粉体に対する伝熱（熱を伝える）の研究について、解説します。 ※大学見学では 水素吸蔵合金が水素を吸蔵放出する様子を映像で紹介します。水素吸蔵合金の実験装置を見学できます。また、水素エネルギー社会を表現した小型デモンストレーション装置および模型、水素燃料電池自動車の模型を、実際に動かすことで、将来のエネルギー利用について体験することが出来ます。模擬授業では、水素エネルギー社会が実現できるかどうかについても考えます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。	
写真・画像	 水素吸蔵合金の膨張収縮	 燃料電池自動車の模型
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）	

テーマ名	材料を「切る・削る」ことを科学する
担当教員	藤本 正和 准教授
学部：分野	工学部：機械分野（機械工学コース）
内 容	材料に形と役割を与える加工技術は、ものづくりの根幹であり、あらゆる工学の分野において、必要不可欠なものです。より良いものを、より早く作るためには、「どうして上手に加工できるのか？（あるいは、できないのか？）」を、実技により方法を身につけることに加えて、学術的に理解することが大切です。 本授業では、多くの加工技術の中から「切る・削る」方法に焦点を当てて、 ・ どうして、刃物は材料を切る・削ることができるのか？ ・ 材料は切られる・削られるときに、何が起こっているのか？ これらの考え方の基礎について紹介します。 ※大学見学では 材料を切る・削ることを科学するために実際に使用している、実験装置となる大型の工作機械とその周辺機器を紹介します。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	  とある材料を、異なる条件で削った後の表面を顕微鏡で観察した結果何故、このような違いが生まれるのか・・・？
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門学校）

テーマ名	ロボット工学から見た人間の運動の不思議
担当教員	越智 裕章 講師

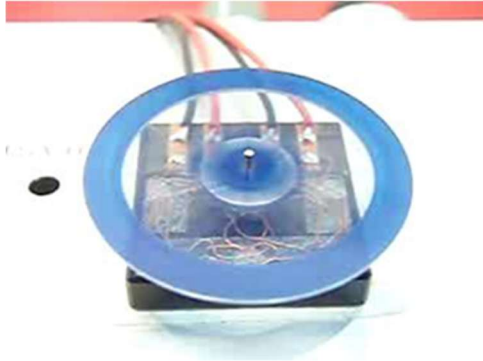
学部：分野	工学部：機械分野（機械工学コース）
内 容	ロボット工学の分野では人間のようなロボットを開発するために、人間の運動解析に関する研究が盛んです。また、人間の運動解析の知見は、介護ロボットやヒューマノイドロボットなど、多くのロボット開発で活用されています。 本授業では、ロボット工学の基礎的な内容を高等学校の数学・物理の範囲で解説し、ロボット工学から見た人間の運動の特徴について紹介します。 加えて、最先端の研究トピックとして、ロボットと人間の違いや人間のようなロボットを実現するための課題に触れ、筋骨格構造ロボットについて紹介します。また、人間の運動解析に関する研究についても紹介します。 ※大学見学では 筋骨格構造ロボットのコンピュータシミュレーションや、ワイヤ駆動ロボットについて紹介します。
写真・画像	筋骨格構造ロボットの シミュレーション解析 ワイヤ駆動ロボット
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

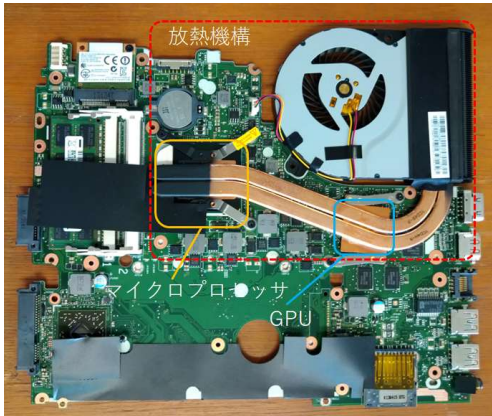
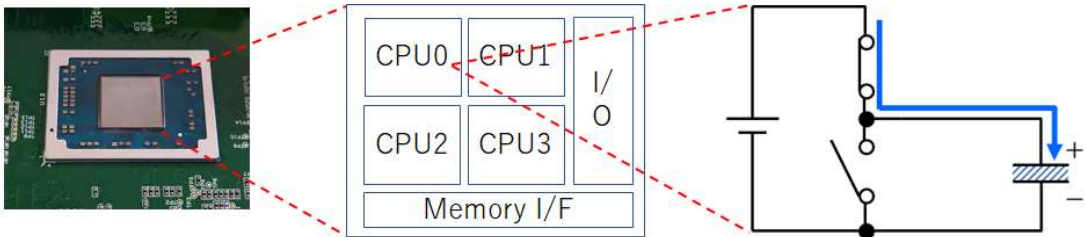
テーマ名	自然エネルギーと SDGs(持続可能な開発目標)		
担当教員	根本 泰行 教授		
学部：分野	工学部：機械分野(自然エネルギーコース)		
内 容	本授業では、 1. 「自然エネルギーの種類と導入状況」の講義（30分～60分） 2. 「SDGsの基礎」の講義（30分～60分） 3. 「自然エネルギー」の実習（30～120分） を実施可能です。 3. の「自然エネルギー」に関する実習として、授業時間に応じ、 ①太陽電池の見学・製作・実験 ②マイクロ風力発電機の見学・製作・実験 ③マイクロ水力発電機の見学・製作・実験 ④バイオマスストーブの見学・製作・実験 を実施することが可能です。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。		
写真・画像	 マイクロ水車  3D プリンターで製作した風車・水車翼	 バイオマスストーブ  風力ロープポンプ	
対象生徒	全ての高校生		

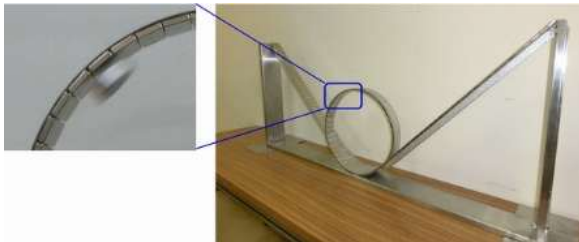
テーマ名	振動水柱型波力発電と波力発電用ウェルズタービン
担当教員	飯野 光政 准教授
学部：分野	工学部：機械分野(自然エネルギーコース)
内 容	未来のエネルギーの一つである波力エネルギー、この講座では波から発電をする代表的な方式の一つである、空気タービン方式の発電の原理を学びます。 波力発電の様々な方式の講義に加えて、本学で研究を行っている振動水柱型波力発電の勉強を行いました。 水槽をつかって波から空気流を起こす実験と、波から起こした空気で回るタービンの工作を通じて、波から電気をつくる原理を体感しましょう。ウェルズタービンという波により起こる往復流でも一方向に回転するタービンの発電模型を利用した実験を行います。 ※大学見学では 造波水槽を使った実験により実際に波の力を見てもらいます。2019年9月以降には波力発電の実験模型を利用して、波から発電を行う原理を実際に体験してもらいます。
写真・画像	振動水柱型波力発電の原理  振動水柱型波力発電の原理図（波により往復の空気流を生じ、タービンを回すことで発電を行います）
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

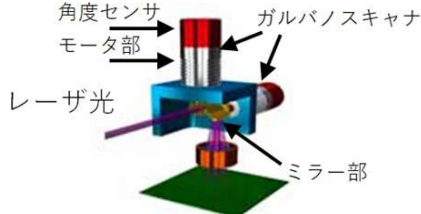
テーマ名	再生可能エネルギーの利用技術
担当教員	出井 努 准教授
学部：分野	工学部：機械分野（自然エネルギーコース）
内 容	現在、世界人口は 82 億人を超えています。人口の増加率はアフリカ地域等の開発途上国において大きくなっています。人口の急増に伴い、食料やエネルギー問題も深刻化しています。このような状況の下、太陽光発電や風力発電、バイオマス発電などの再生可能エネルギー利用技術は、途上国においても未電化地域の電化をはじめとして様々な用途で利用されています。 日本の国際協力事業によって途上国の未電化地域に再生可能エネルギーを導入した事例をケニア、モンゴルおよびボリビアを現地で撮影した写真やエピソードを交え内容ながら、わかりやすく説明致します。また、各再生可能エネルギー技術の原理や開発途上国の抱える問題などについても詳しく説明致します。 ※大学見学では 総合研究センターにある、トリプルハイブリッド（風力・太陽光・バイオマス）施設や太陽光発電施設（独立型、系統連系型）および風と光の広場にある小形風力発電機やウォーターハンマーポンプ等の再生可能エネルギー利用技術を実際に見学できます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	  ケニアの地方小学校やモンゴルの未電化地域など、独立型の再生可能エネルギーを必要とする地域は多くあります。
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

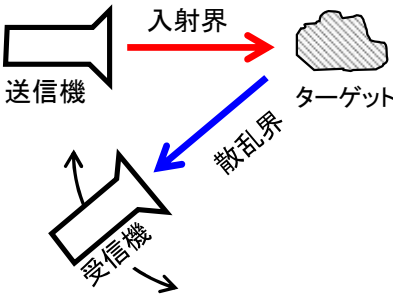
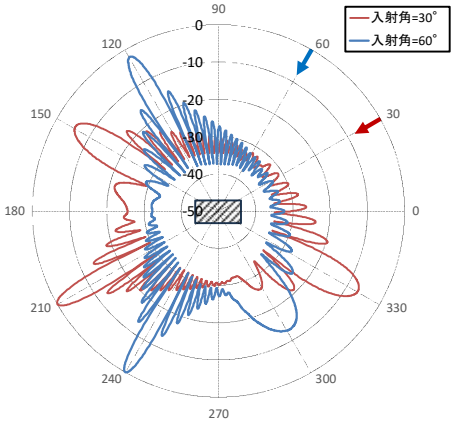
テーマ名	電磁界を用いたワイヤレス給電の原理とその応用
担当教員	土井 達也 教授
学部：分野	工学部：電気電子分野(電気電子工学コース)
内 容	本授業では、電磁界共振式ワイヤレス給電の基本原理と応用について解説します。また、本研究室で行っているワイヤレス給電とその応用に関する研究紹介をします。 ※大学見学では、本研究室で行っているワイヤレス給電とその応用に関する研究紹介をします。
写真・画像	
対象生徒	工業高校（電気）、普通高校（理）

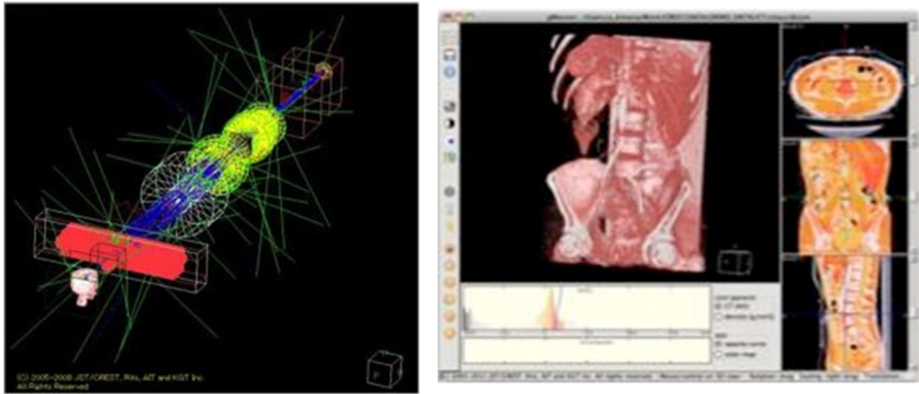
テーマ名	圧電セラミックスとその応用
担当教員	土信田 豊 教授
学部：分野	工学部：電気電子分野(電気電子工学コース)
内 容	圧電セラミックスは圧力を加えると発電し、逆に電圧をかけると変位する材料です。小型化し易く効率が良いので、その用途は多岐に渡ります。例えば、身近なところでは皆さんが小学生の頃持っていた防犯ブザーやご両親が運転される車のバンパーについている障害物を検知する超音波センサーから、カメラのオートフォーカスや手ぶれ補正のモーター、スマートフォンの送受信のフィルタ、自動車の燃料噴射装置、各種センサーなど様々なところで使われています。 一方でその材料は、まだ代替が難しく、有害な鉛を60%以上も含むPZTと呼ばれる圧電セラミックスが一般的に使われています。そのため、環境に優しい鉛を含まない非鉛圧電セラミックスの実用化が強く求められています。 授業では、「圧電セラミックスとは何か？ 何に使われているのか？」を指向性スピーカなどにより体験、実験を交えながら体感し、課題、最新の応用例や研究例を紹介いたします。 ※大学見学では 圧電セラミックスとその応用の基本を各種圧電デバイスにより体験、実験を通して体感し、研究紹介と開発した非鉛圧電セラミックスを用いた世界で最初のモーターの実演、最新の応用商品としてハイレゾリューションイヤホンを試聴できます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 非鉛圧電セラミックスを用いた 世界で最初のモーター  ハイレゾリューションイヤホン
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

テーマ名	先端半導体マイクロプロセッサの仕組みと冷却
担当教員	西 剛同 教授
学部：分野	工学部：電気電子分野(電気電子工学コース)
内 容	最近、台湾の半導体メーカー TSMC が熊本に、日本発の半導体メーカー ラピダスが北海道に大きな半導体工場を建てています。これらの工場で製造される半導体は、集積回路と呼ばれるものです。それでは集積回路はどのような役割を担っているのでしょうか？先端技術を駆使した集積回路の代表格はマイクロプロセッサです。マイクロプロセッサは、コンピュータの頭脳として働く半導体です。私たちの研究室では、マイクロプロセッサ等の冷却を通じて、機器の小型・省エネ化を実現するための研究に取り組んでいます。 授業宅配では・・・ 集積回路の仕組み、発熱のメカニズム等を分かりやすく説明するとともに、参加者の皆さんに、実際のマイクロプロセッサや冷却機構を手にとって見てもらいます。今話題の半導体について楽しく学びましょう！
写真・画像	 ノートパソコンのプリント基板と放熱機構  マイクロプロセッサパッケージ シリコンダイ底面に形成された回路構成 (イメージ) 各回路を構成するスイッチング素子による論理回路 マイクロプロセッサの構造
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

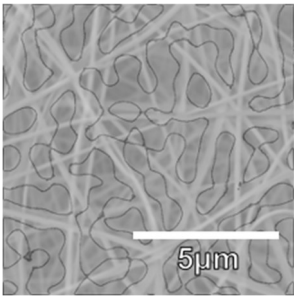
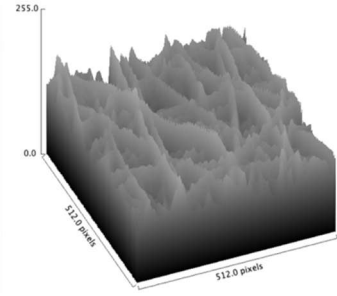
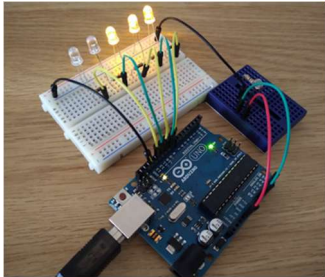
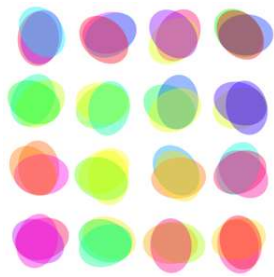
テーマ名	磁石なんでも講座
担当教員	横山 和哉 教授
学部：分野	工学部：電気電子分野(電気電子工学コース)
内 容	磁石は身近な所にありますが、スマートフォンやゲーム機、自動車などに使われていることは意外と知られていません。そのような身近な磁石から、リニア新幹線や病院の画像診断装置などの超伝導磁石まで、様々な磁石を紹介します。授業では、磁石の基礎から実用例までを、ネオジム磁石の強磁場体験なども含めて説明します。また、超伝導磁石を使った磁気浮上ジェットコースターや人間磁気浮上等の実演・体験を交えて、最新の超伝導技術を紹介します。 この他、ご希望により磁石を使った実習として紙コップスピーカーの製作（30～60分程度）や、少し難しい物理現象として「人って磁石にくっつくの？反発するの？」をテーマに物質の磁性を説明します。 ※大学見学では 学生による超伝導磁気浮上の説明や超伝導ジェットコースターの実演，人間磁気浮上を体験します。あわせて、液体窒素を使った冷却実験も行います。 （注意）強力な磁石を使いますので、ペースメーカーをご利用の方がいらっしゃる場合はあらかじめお申し出ください。 さらに、直接磁石に関連しませんが、電気電子分野の授業の一つである「電気電子工学実験Ⅲ」から高電圧実験（雷実験）を紹介します。目の前で数種類の雷を体験できます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 超伝導ジェットコースター  人間磁気浮上体験
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

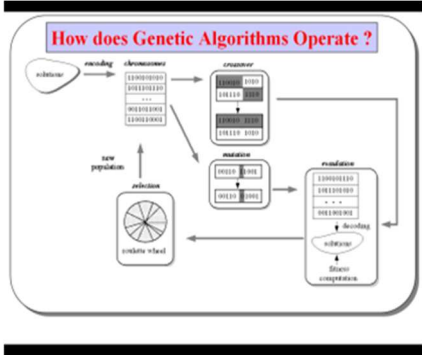
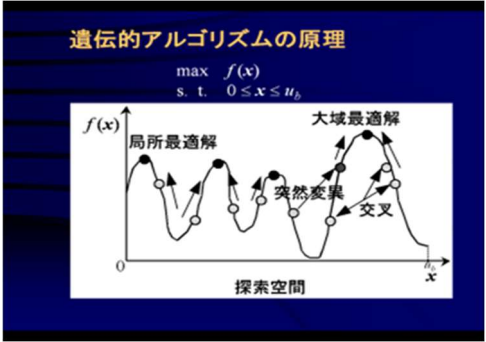
テーマ名	モータの位置制御とその応用
担当教員	上田 伸治 准教授
学部：分野	工学部：電気電子分野(電気電子工学コース)
内 容	モータは産業機器や自動車に広く用いられています。また日常生活を過ごす上でもモータは冷蔵庫、エアコンや電車などに利用されており、必要不可欠なものとなっています。 モータは、なぜ動くことができるのでしょうか。 中学校の理科の授業では、フレミング左手の法則について学びました。磁石の間に配置したコイルに電流を流すと、力が発生します。 この力を利用してモータを回転させています。 コイルに流す電流を大きくすると発生する力は大きくなり、逆方向に電流を流すと逆回転させることができます。また電流を調整することによって、速度を調整することができます。そのため、この電流の調整方法（制御方法）が重要となっています。 本研究室では各種産業機器で用いられるモータを高速高精度に位置決め制御するための研究を進めています。 ※大学見学では モータの位置制御に関する仕組みを紹介し、簡単な位置センサを用いたモータ位置制御に関するデモンストレーションを見学します。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	(1)ガルバノスキャナ（レーザ加工機）  角度センサ モータ部 レーザ光 ガルバノスキャナ ミラー部 レーザ光を高速高精度に位置決め 高速高精度なレーザ加工を実現 (2)ハードディスクドライブ  磁気ヘッドを高速高精度に制御 高速大容量な記憶装置を実現
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

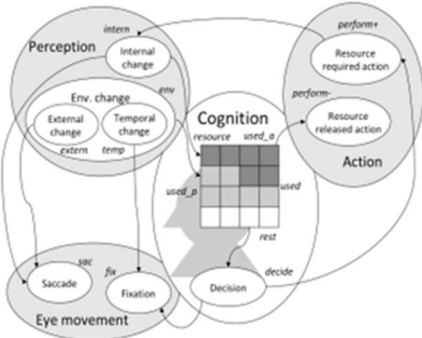
テーマ名	解析的手法を用いた電磁波散乱問題の理論モデルの解析
担当教員	長坂 崇史 講師
学部：分野	工学部：電気電子分野（電気電子工学コース）
内 容	次世代の Beyond 5G/6G 通信が期待される中で、高周波帯でのアンテナ設計や電波の安全性確認等で電磁界シミュレーションが必要とされています。特に近年は、実験・実測の試行回数を減らして、その代替にシミュレーションを用いる等、シミュレーションの精度も求められています。 本研究室では、電磁波散乱問題の理論モデルを解析的手法で解析し、その散乱特性を検証しています。解析的手法は数学的な裏付けがあるため、解析結果に一定の妥当性があり、本研究室では、電磁界計算の校正標準となりえる解の導出を目指しています。 授業宅配便では、上述の背景を踏まえて、電磁界シミュレーションが社会の中でどのように求められているか紹介します。 ※大学見学では 解析的手法を用いて解析した電磁波散乱問題のシミュレーション結果を紹介します。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 バイスタティック RCS  完全導体四角柱の散乱界 (E波入射、$ka=40$, $kb=20$)
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

テーマ名	がん治療と情報技術
担当教員	木村 彰徳 教授
学部：分野	工学部：システム情報分野(情報デザインコース)
内 容	がん治療の一つの放射線治療では、効率的な治療と正常組織への影響を最小限に抑えるためにコンピュータシミュレーションが利用されています。また、複雑な装置の制御にも利用され、情報技術が非常に重要な役目を果たしています。このように、がん治療で利用されている情報技術（主にコンピュータシミュレータ及びコンピュータ可視化技術）について説明します。 ※大学見学では コンピュータ可視化技術を用いた PC アプリケーションを操作することができます。また、放射線シミュレーションのデモンストレーションをお見せすることもできます。
写真・画像	
対象生徒	工業高校情報系、普通高校（理・文）、他全系列生徒対象

テーマ名	最先端天文学で活用されるデータサイエンス		
担当教員	塚越 崇 准教授		
学部：分野	工学部：システム情報分野(情報デザインコース)		
内 容	観測天文学とは、望遠鏡を用いて宇宙にある様々な天体を観測し、複雑な観測データの分析を通して情報を引き出し、そこから宇宙の様々な謎に切り込む学問です。このような天体の観測は、見方を変えると「観測データからノイズに埋もれた微弱な天体信号を検出する」行為と言えます。また、望遠鏡の大型化や装置の先鋭化に伴うデータ量の肥大化が進んでいることから、現代観測天文学においては、統計数理学や情報処理技術との融合、つまりデータサイエンス的な観点が重要な学問となっています。 授業宅配便では、現代天文学で用いられる様々な望遠鏡のしくみや最新の研究成果、およびそこで活用される情報工学の最前線について紹介します。 ※大学見学では 最新の大型望遠鏡と情報工学の活用により得られた、様々な天体の画像と美しい宇宙の姿を紹介します。BS アンテナを活用した太陽電波の観測装置を見学することもできます。		
写真・画像			
対象生徒	全ての高校生		

テーマ名	炭素材料の開発における画像解析の活用
担当教員	秋山 寛子 講師
学部：分野	工学部：システム情報分野(情報デザインコース)
内 容	炭素材料は、形状や性質を変化させることで様々な機能を持たせることが可能であり、電子機器やスポーツ用品、環境保護など、幅広い分野で活用されています。生成した炭素材料の性質を知るには、化学的な実験だけでなく、顕微鏡で撮影した画像をコンピュータで解析することも有効な方法です。画像処理ソフトやプログラミングで、画像に写っている物体の大きさや形を測定し、その炭素材料がもつ特徴を客観的に明らかにすることができます。そして、炭素材料の研究者へ解析結果を提供することにより、より活用に適した材料の開発に役立てることができます。 ※大学見学では 画像処理ソフトを用いた解析のデモンストレーションや、プログラミングによる解析データの可視化を展示いたします。 また、卒業研究では Arduino や Processing を用いて、ユーザーの入力や環境に反応するアプリケーションを開発しており、これらの操作も体験していただけます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	  炭素材料の画像解析例   アプリケーションの実装例
対象生徒	工業高校情報系、普通高校（理・文）、他全系列生徒対象

テーマ名	遺伝的アルゴリズムの工学的応用
担当教員	田口 雄章 講師
学部：分野	工学部：システム情報分野(情報デザインコース)
内 容	遺伝的アルゴリズムは、生物進化（選択淘汰・突然変異）の原理に着想を得たアルゴリズムであり、確率的探索・学習・最適化の一手法と考えることができます。そのメカニズムは、1）初期集団(染色体)の生成、2）適応度の評価、3）選択（自然淘汰）、4）交叉、5）突然変異、といったもので成り立っています。また、遺伝的アルゴリズムは、輸送問題、スケジューリング問題、ネットワーク問題などの各種最適化問題に適用されています。 本授業では、遺伝的アルゴリズムの基礎的概念を解説し、いろいろな最適化問題への応用例を紹介します。 ※大学見学では シミュレーションソフトを用いて簡単な遺伝的アルゴリズムを紹介します。また、遺伝的アルゴリズムを適用した、看護師スケジューリング問題、ジョブショップスケジューリング問題などを紹介します。
写真・画像	 
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

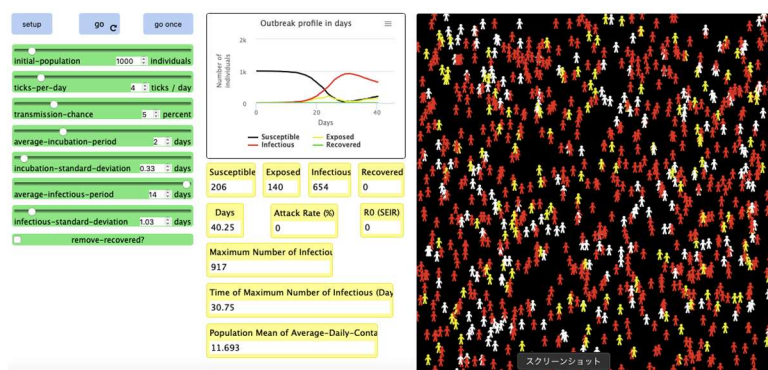
テーマ名	「察するコンピュータ」を目指して
担当教員	平石 広典 教授
学部：分野	工学部：システム情報分野(AI システムコース)
内 容	「察するコンピュータ」とは、明確な入力や操作を必要とせず、言わなくても分かってくれる、時にはそっとしておいてくれるというようなコンピュータと定義できます。現代のコンピュータでは、数多くの情報を利用者に提供してくれますが、利用者の状況や意図に関係なく提供されれば、時にはそれらが邪魔であったり、また、複雑な操作が必要であったりする場合があります。本授業では、どのように「察するコンピュータ」を実現していくか、また、研究の過程で開発したいいくつかシステムについて紹介します。 ※大学見学では これまでのプロジェクトや卒業研究等で研究・開発してきた実際のシステムを間近で見学することが可能です。また、ジェスチャー認識や、センサー装置など、いくつかの物におきましては、実際に触って体験することも可能です。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 運転におけるドライバーの 認知的な負荷のモデル  簡易脳波計によるダーツ時の 集中度の解析実験の様子
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

テーマ名	浸水避難を対象とした「流れ」のシミュレーション
担当教員	廣川 雄一 教授
学部：分野	工学部：システム情報分野（AI システムコース）
内 容	近年、集中豪雨など極端気象現象の発生頻度が増加し、河川氾濫や洪水などの発生に繋がる可能性があります。また、地震の活動期に入った可能性も指摘されており、津波遡上などが発生する恐れもあります。防災・減災の検討では、災害の影響範囲および災害が社会および人間に与える影響を高精度に予測し、施設補強や避難計画などを予め検討しておくことが重要です。特に、将来起こりうる現象を予測・分析できるシミュレーションは、実験が難しい被災条件などを具体的に検討できるツールとして有用です。 本テーマでは実際の街区における浸水時徒歩避難を対象として、①水の流れを計算する流体シミュレーションと②人の流れを計算する人流シミュレーションを組み合わせ、浸水避難時に発生しうる避難状況をコンピュータ上で検討しています。人流シミュレーションでは人工知能の1分野である「マルチエージェントシステム」を用い、実際の人間と同じように周囲の環境を認識・記憶しながら自分の行動を決めていく様子を再現できます。本テーマではシミュレーションの概要および得られた知見をご紹介します。 また、マルチエージェントシステムの実習として、米ノースウェウタンス大学が開発している「NetLogo」を使ったシミュレーションを予定しています。人間も含めた環境をコンピュータ上でシミュレーションすることの意義やメリットを体験することができます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。

写真・画像



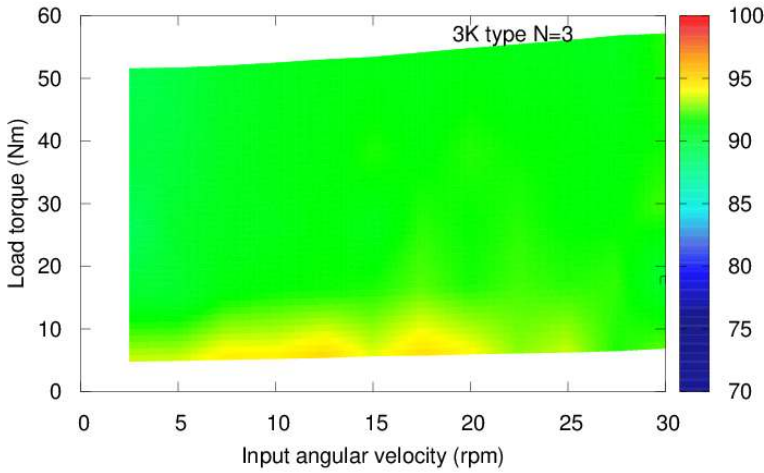
浸水避難シミュレーションの可視化例

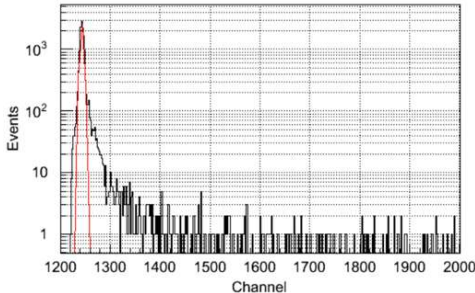
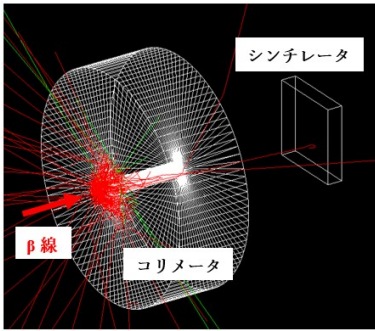


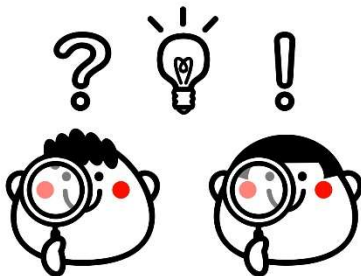
感染症シミュレーション例(引用: <http://www.netlogoweb.org/launch>)

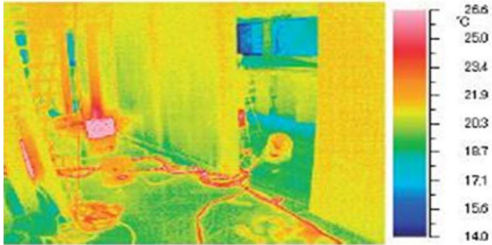
対象生徒

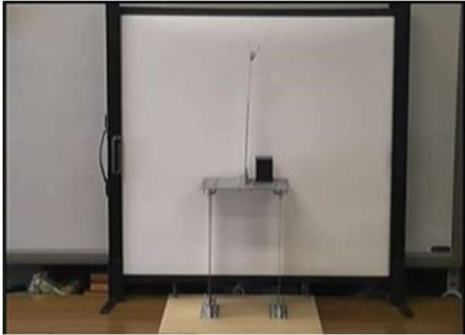
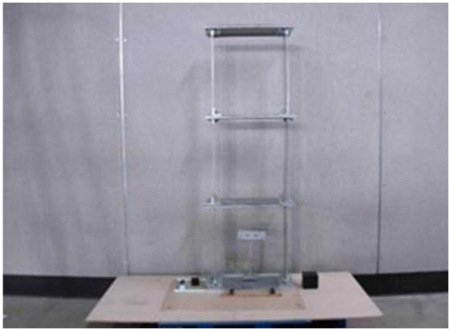
全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

テーマ名	歯車とAI
担当教員	松木 洋 講師
学部：分野	工学部：システム情報分野(AI システムコース)
内 容	AI の研究やロボットの研究が注目を浴びています。そこで本テーマではロボットの関節を柔らかくすることができる新しい減速機をご紹介します。併せて話題になっている生成 AI についても歴史や近年の動向について簡単に説明します。 ※大学見学では 近年話題になっている AI について解説します。AI で用いられている最適化問題や機械学習という計算手法が本減速機的设计にも使われています。そこで大学見学ではどのような AI 技術が作られてきたのか、簡単に解説したいと思います。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

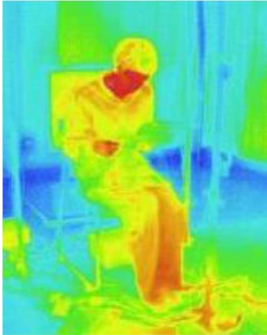
テーマ名	データ解析に基づいた新型センサの開発研究
担当教員	宮田 恵理 講師
学部：分野	工学部：システム情報分野
内 容	医療や環境放射線へ応用するための新しいセンサの開発を、企業との共同研究で行っています。一般的に、高性能なセンサは高価で大型化が難しい特徴があります。そこで我々の研究グループでは、安価で大型化可能な新物質に着目しました。センサの作製、PC 自動制御システムによる計測と解析、国際汎用シミュレータを用いた性能評価などを行っています。 本授業では、装置の原理や測定データの解析手法などについて説明します。 ※大学見学では 企業との共同研究のため情報公開できない部分もありますが、国際汎用シミュレータを用いたセンサの性能評価について、お見せすることができます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 データ収集システムで測定した電荷分布  シミュレーション画像
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

テーマ名	未来を創る魔法を解き明かす！情報システムの世界
担当教員	采澤 陽子 助教
学部：分野	工学部：システム情報分野
内 容	「情報システム」と聞くと、難解な印象を受けるかもしれません。しかし実際には、皆様が日常的に利用しているスマートフォンのアプリケーション、円滑な駅の改札、友人とのオンラインゲーム、店舗での効率的な会計など、私たちの生活は情報システムという名の「魔法」によって支えられています。 本授業では、身近な情報システムがどのように私たちの生活を動かし、これからどのような未来を描いていくのか、その入り口を共に探求します！
写真・画像	
対象生徒	全の高校生

テーマ名	エコリフォーム ～省エネ、健康な住宅の設計法～
担当教員	齋藤 宏昭 教授
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)
内 容	近年、空き家が増えて社会問題となっていますが、古い住宅でも間取りや構造、内装を改修し、デザインや使い勝手が改善できれば、建て替えに伴うコストを負担せず、良質な住宅を得ることが出来ます。一般に、リフォームでは内装に加え、耐震性の改善が行われますが、環境への配慮が不可欠なこれからは「省エネ」、「エコ」、「健康」といった、目に見えない部分のリフォームも加える必要があります。 そこで、この授業では省エネや健康を両立するためのエコリフォームについて皆さんと一緒に考えてみます。自分の家の間取りを使って、太陽熱の遮断方法、風の取り入れ方、明るさの確保など、健康で快適な空間の計画を学習できます。 ※大学見学では 室内温熱環境の計測をしている実験住宅を見学できます。
写真・画像	 
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）、他全系列の生徒

テーマ名	地震に強い構造物とは？
担当教員	仁田 佳宏 教授
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)
内 容	地震の多い日本では、構造物を地震に強く作る必要があります。そこで、地震に強い構造物を作るための耐震、免震、制震（振）技術について、説明をします。 ※大学見学では 免震や制振の実験をお見せすることが可能です。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	  免震や制振の実験 宅配講義でも場合によっては、制震（振）の簡単なデモを行うことも可能です。 （要相談）
対象生徒	工業高校建設系、普通高校の生徒（普通高校・工業高校）

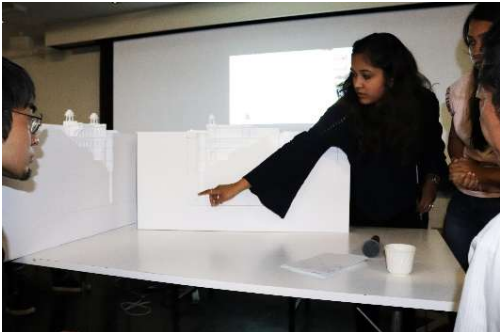
テーマ名	建設分野の ICT -先端技術を体験してみよう-
担当教員	仁田 佳宏 教授
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)
内 容	建設分野では、構造物の高所や狭所を対象とした検査や高層ビルなどの建設の施工、測量に、ロボットやドローンなどの技術が活用されつつあります。。 そこで、ロボットやドローンによる外壁や橋の検査事例や建設現場における活用事例を紹介します。また、大学見学では、測量分野への活用として、ドローンやロボット技術を活用したデモなどもお見せすることが可能です。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 環境計測や測量のためのロボット
対象生徒	中学校～高等学校の児童生徒（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）

テーマ名	省エネで健康・快適に生活できる住宅の作り方		
担当教員	室 恵子 教授		
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)		
内 容	地球温暖化を抑制するには、住宅で消費されるエネルギー量を削減すること（省エネ）が重要です。しかし、省エネのためにがまんするような生活は、不快だけでなく健康をも損なう危険性があります。 この授業では、冬(暖房)・夏(冷房)に、自然をうまく使って、あるいは、建物のつくり方や生活の工夫によって、省エネでありながら健康・快適に生活する方法を学習します。 また、建物模型を使った実験では、建物のつくり方の違い・工夫によって、室内の温熱環境にどのくらい差が生じるのか確認してみます。 ※大学見学では 「人工気候室」という温度と湿度がコントロールできる実験室で、いろいろな条件の温熱環境が体感できます。また、そのときの自分のからだの温度をサーモビューアー（熱画像）で確認できます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。		
写真・画像	 壁の熱性能と室温との関係を見る実験	 日除けの効果を見る実験	 人工気候室内での暖房実験風景
対象生徒	普通高校、工業高校（建築）の生徒		

テーマ名	近代以降の日本の住まい
担当教員	渡邊 美樹 教授
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)
内 容	近代以降、日本人の住まいは、大きく変化しました。皆さんが今、生活している「住まい」の中には、おそらく、日本人の昔ながらの住まいのしつらえと、西洋化した後の住まいのしつらえが混在しています。 昔からの日本人の住まい、近代、現代の住まいの変化を見ながら、日本人の生活空間を考えてみましょう。 ※大学見学では 製図室で学生の課題についての説明と見学の後、基本的な図法を学ぶ。著名な建築家による住宅作品の模型を見ながらスケッチをする。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 旧岩崎邸 1986 年コンドル  塔の家 1966 年東孝光
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理・文）

テーマ名	ドローンと3D技術で「瓦礫の山」を見える化！ ～地震後のまちを早く元に戻すために～
担当教員	王 欣 教授
学部：分野	工学部：建築・土木分野（建築学コース）
内 容	大規模な地震が発生すると、倒壊した建物や津波被害から大量の瓦礫が発生し、その処理が緊急かつ重要な課題となります。この瓦礫は、速やかに撤去されないと、避難路や救助活動の妨げになるほか、感染症のリスクや環境への悪影響も懸念されます。また、瓦礫の運搬や処分には、専用の重機や多くの人手が必要となるため、短期間で処理することが困難です。 2024年1月1日に発生した能登半島地震では、多くの建物が倒壊し、街には大量の瓦礫（がれき）が発生しました。これらの瓦礫をいち早く片付け、復旧作業を進めるには、まず「どこに」「どれくらい」瓦礫があるのかを正確に知る必要があります。 この研究では、ドローン（UAV）を使って被災地の上空からたくさんの写真を撮影し、それらの画像をコンピュータで処理して3次元の立体地図（点群モデル）を作成しました。その立体地図から、建物の瓦礫の量をコンピュータで計算することで、片付けに必要な機材や時間を効率よく計画できるようにするのが目的です。とくにこの研究では、石川県珠洲市鵜飼（うかい）地区で撮影した写真から、AIや3D処理ソフトを使って、瓦礫の体積（立方メートル）を推定しました。今後は、AIで瓦礫を自動で識別する技術にも取り組んでおり、災害対応をより速く、正確に行うための技術開発を進めています。
写真・画像	 能登半島地震後珠洲市鵜飼地方の3次元点群モデル
対象生徒	高校生

テーマ名	空間が人間へ与える影響とは？
担当教員	藤谷 英孝 教授
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)
内 容	現在の都市は、住宅・学校・オフィス等の建築、路地・道路・公園等、様々な空間で構成されています。建築計画学では、これらの空間を対象として、実際の使われ方、そこでのアクティビティ、利用者の心理が調査されています。それより、人が安心に感じる居場所、プライバシーを保つことができる場所、愛着が育つ場等、環境と人間の関係が分析されています。例えば、植木鉢のある開放性の高い住居では、近隣関係が強まり、住民の安心感も高まるのに対して、閉鎖的な住居では不安感が強まる傾向にあることが、確認されています。そのため、これまでの研究事例を紹介することで、建築・都市の「空間」が「人間」に及ぼす影響について解説します。 ※大学見学では 大学の製図室において、建築設計製図の授業で学生が制作した作品について、説明を受けながら、見学することができます。また、国内・海外の有名建築家が設計した住宅の模型を見ながら、空間構成を知ることができます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 開放的で安心感の高い住居  閉鎖的で不安感の強い住居
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

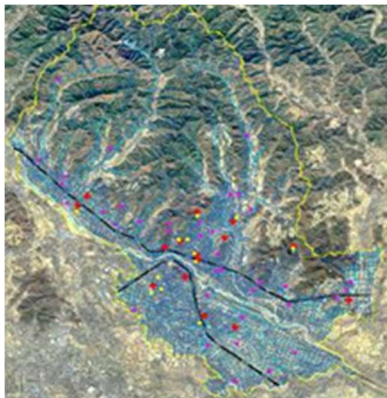
テーマ名	まちの風景をつくる建築		
担当教員	大野 隆司 教授		
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)		
内 容	建築や土木構造物は、まちの風景をつくる重要な要素となります。水辺や緑などの自然そして風土を生かした景観づくり、歴史的建築物の保存・活用によるまちづくり、伝統産業・文化・地場素材を活用した建築デザイン事例、優れた街並みのデザインや公共空間の整備事例など、各地で取り組まれてきたまちの風景づくりを紹介しながら、建築・土木の果たす役割について解説していきます。 ※大学見学では 研究室の学生が提案した建築や都市の設計図面と模型を見学できます。また建築設計製図の授業での数多くの課題作品を解説を受けながら見学することが出来ます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。		
写真・画像	 風景をつくる建築群（ギリシャ）	 親水空間づくり（静岡県三島市）	 模型をつかって3次元の空間を議論する
対象生徒	工業高校建設系、普通高校の生徒（普通高校・工業高校）		

テーマ名	建物の“ゆれ”を見てみよう
担当教員	刑部 徹 講師
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)
内 容	建物は地震時以外でも常に小さくゆれています。その微小なゆれ（常時微動といいます）を計測することによって、大地震が来た時のその建物の動きをある程度予想することができます。その結果、大きくゆれてしまうと予想された建物は、耐震改修などの対策が必要となる場合があります。 本授業では、この常時微動を実際に計測して体では感じることのできないゆれを確認します。また、例として常時微動計測の結果から得られた住宅やビルの振動シミュレーションを紹介し、建物の種類や状態による“ゆれ”の特徴を解説します。” ※大学見学では 実験室もしくは校舎の常時微動測定を見学することができます。また、歩く・ジャンプするといった人間の活動によって、建物がどのくらい揺れてしまうのかを試すことができます。
写真・画像	1 階および 2 階以上の床に小さな機器を設置します。
対象生徒	工業高校全科・系、普通高校（理）の生徒（普通高校・工業高校）

テーマ名	土の建築体験	
担当教員	中村 航 講師	
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)	
内 容	土は何処でも採れて、枯渇の心配がなく、製造・廃棄にエネルギーを消費しないなど、今後の利用が期待される自然素材である。日本で土を使った建築といえば左官であるが、世界には日干しレンガや突き固めた土で壁を作る方法がある。 この授業では、土積み、日干しレンガ作製・積み、版築、伝統的な左官 3 工程（小舞掻き、土塗り、漆喰塗り）の 7 つの土の建築工事を体験できる。日本でも今後、様々な改良がくわえられて、これらの工事が採用される可能性が高い。また、土の利点である、誰でも参加できる、素人施工も可能という点で、子供から高齢者まで建築に参加できることも体験してもらえると考えられる。 ● 必要人員：教員 1 名、手伝い学生 4～5 名 ● 時間：授業は 3 時間程度あれば（講義もあわせると長くできます） ● 場所：汚れてもよい、何も無い教室が最低 1 部屋（洗い場が近いと良い） ● 必要なもの：作業用のテーブル 3 つ程度、道具はこちらから持参（エレベーターのない 2 階以上は運搬の協力が必要）だが、運搬に前後半日必要 ● 参加に必要なもの：汚れてもよい服装 ※全体を通して足利大学に来てもらうのも可	
写真・画像	 体験授業の様子	 漆喰塗りの様子
対象生徒	小学校低学年～高齢者	

テーマ名	水のちから。人の知恵。		
担当教員	長尾 昌朋 教授		
学部：分野	工学部：建築・土木分野(土木工学コース)		
内 容	水は0℃で氷になり、100℃で蒸発して水蒸気に変化します。氷ー水ー水蒸気の変化の仕組みが雲をつくり、雨を降させます。これを体験するために、ペットボトルと自転車の空気入れを使って、ペットボトルの中に雲を作る実験を行います。この実験から、雲が発達する原理や地球の水循環について想像を巡らします。 また、水に関する災害についても紹介します。例えば、大雨による洪水氾濫は社会へ大きな被害をもたらします。これに対して、洪水氾濫シミュレーションを利用して、ハザードマップを作成すれば、いざという時の避難の役に立ちます。このように、社会を支える技術者の一面も紹介します。 ※大学見学では 人間にとって、水は自然の恵みであると同時に驚異でもあります。正しい利用と災害への備えを両立させるために、私たちは水を知る必要があります。実験室の大型水路に洪水のように水を流してキミたちを待っています。 勢いよく流れる洪水を体感してみませんか？		
写真・画像	   ペットボトルの中に雲を作る実験 実験室の大型水路		
対象生徒	高校全系列の生徒（普通高校・工業高校・専門高校）		

テーマ名	身近にある砂と粘土の実験
担当教員	西村 友良 教授
学部：分野	工学部：建築・土木分野(土木工学コース)
内 容	たくさん雨が降った翌日、水溜りが見られるところと、水はけが良いところをみるかと思います。水通しの良い土とそうでない土を比べると、その違いは明白です。細かな土の粒が集まった土壌は水の通りが悪いのですが、実際に測定してみましょう。 ※大学見学では 土の特性を調べる色々な試験装置をご紹介します。
写真・画像	 簡易透水測定器具  砂の密度測定器具   出前授業の様子
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

テーマ名	道路の整備効果、舗装の最新技術まで
担当教員	藤島 博英 講師
学部：分野	工学部：建築・土木分野(土木工学コース)
内 容	いつも歩いている道路。でも、その下がどうなっているのか、知っている人は少ないと思います。また、道路とは何か。道路はどうやって設計するのか。 模擬授業では、道路の歴史を振り返りながら、道路の種類や役割、道路や舗装の設計。また、水がしみ込む舗装や夏でも涼しい舗装、音楽を奏でる舗装など、道路舗装の最新技術を学び、環境に優しい舗装について理解を深めます。 さらに、道路の環境に対する取り組みとして、騒音や振動、大気汚染対策など、環境を考えた工夫や努力がされていることなど、道路の整備効果から道路構造、舗装の最新技術等、わかりやすく解説します。 ※大学見学では 自分が生まれる前、自宅の回りはどのようになっていたのか？地理情報システム（GIS）を操作して、過去と現在の空中写真や衛星画像を比較したり、人口等の統計データと道路や建物などの情報を重ね合わせ、自分だけのオリジナルの地図を作ることができます。
写真・画像	  地図を作るには、1 時間以上の時間が必要です。
対象生徒	高等学校の全生徒（普通高校・工業高校）

テーマ名	コンクリートとは(歴史・技術進歩、さまざまなコンクリートの開発)		
担当教員	松村 仁夫 助教		
学部：分野	工学部：建築・土木分野(土木工学コース)		
内 容	コンクリートの起源は非常に古く、古代エジプト、ギリシャ、ローマ時代の石造建築物において、石材同士の接合に石こう、火山灰、石灰などのモルタルが用いられていたと言われ、気硬反応で硬化する気硬性セメントと呼ばれている。これに対して、現在工業的に広く利用されている水硬性セメントの技術は、18 から 19 世紀にかけて英国を中心に発展した。主に建物、道路、橋、ダム、水路などの構造材料として大量に用いられるようになり現在に至っている。模擬授業では、コンクリートの歴史といろいろなコンクリートについて、説明することと、数秒で固まるセメント（ジェットセメント）を練ってもらい固まる速さとシュミットハンマー（非破壊試験装置）を用いて、コンクリートの圧縮強度試験（破壊）をすることなく圧縮強度を推定できる試験を体験してもらいます。また、ドローンを用いた測量教育についても説明を行い、実際にドローンを操作してもらいます。 ※大学見学では 近年、混和材（剤）の開発が進歩し、高層ビル等の建設が多くなっております。高層ビルの 1、2 階には、超高強度コンクリート（圧縮強度 100MPa 以上）が使用されています。研究室では、普通強度コンクリートと超高強度コンクリート供試体（$\phi 75 \times 150\text{mm}$）を用意し、圧縮強度試験を行いコンクリートの爆裂状況を見せることが可能です。大学見学においても、測量教育を説明した後ドローンを操作してもらいます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。		
	＜破壊状況＞   普通強度 超高強度		

写真・画像



練り混ぜ
(材料 : ジェットセメント、水)



固まった状態 (数秒後)



ドローン (重量 : 約 80g)
寸法 : 98×92.5×41mm



シュミットハンマー
(非破壊試験装置)



コンクリート

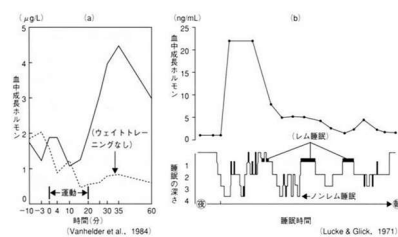
試験状況

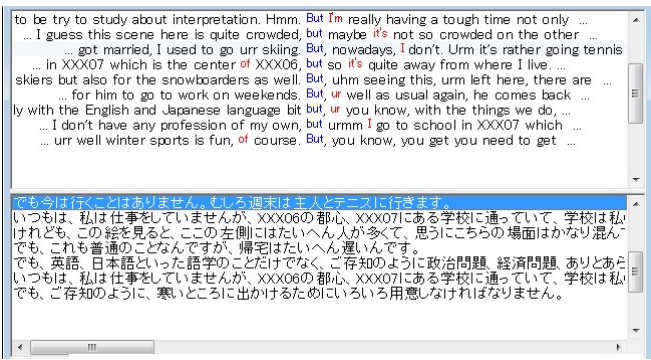


ドローン操作

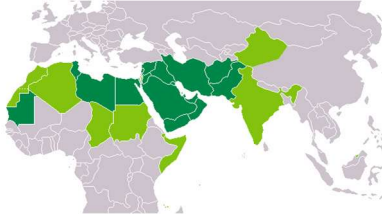
対象生徒 工業高校建築・土木系、普通高校の生徒 (普通高校・工業高校・専門高校)

テーマ名	使える英語を身に付けよう
担当教員	飛田 ルミ 教授
学部：分野	共通教育センター（人文・社会科学系）
内 容	日本社会ではコミュニケーションの手段として英語を使える人材が、これまで以上に強く求められ、多くの企業で国際的なビジネス場面で通用する高いレベルの英語運用能力を習得することが切実な問題となっています。 しかし、これまでの英語学習方法では、実際に海外で通用する英語を身につけることが難しいと言われています。そこで当授業では、英語コミュニケーション能力を身につけるための効果的な学習方法や自分に合った教材のを見つけ方を、アメリカ留学の経験を基に紹介します。 また、本学で実施した海外研修を例に、国際意識を高める方法や、アメリカで成功している日本人起業家から学んだ仕事や生活で必要とされる英語力を紹介すると共に、実際にアクティブラーニング方式を取り入れた、タスクベースの自立学習方法によるデモンストレーションを行います。
写真・画像	
対象生徒	全ての高校生（普通高校・専門高校）

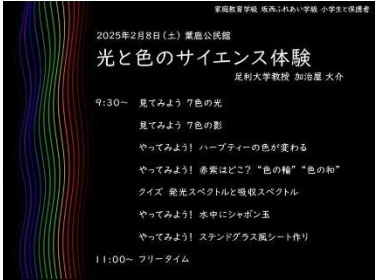
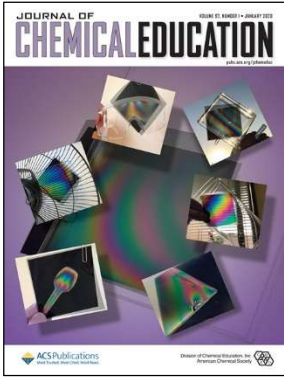
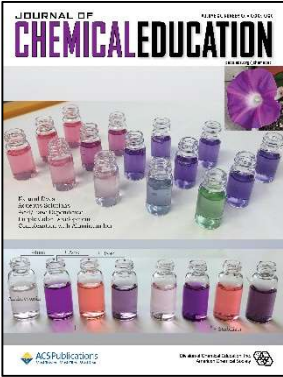
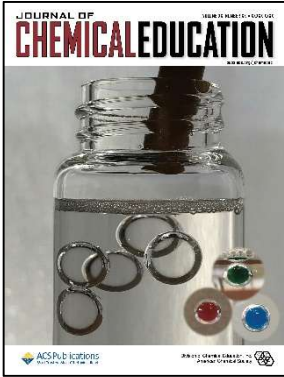
テーマ名	スポーツ・コンディション
担当教員	吉田 弘法 教授
学部：分野	共通教育センター（健康スポーツ科学）
内 容	アスリートは、日頃のトレーニングの成果を試合で発揮するために、様々な工夫を行っている。しかしながら、トレーニング効果を最大限に引き出すためには、トレーニングの現場だけではなく、それ以外の時間帯（日常生活）の影響についても科学的に検証されつつある。例えば、休養のとり方（睡眠等）は、試合の前日のみ十分に確保すれば良いのか？睡眠の時間帯によって、体調に影響を及ぼすホルモン等の分泌に影響があるのか？など、様々な要因との関連性が確認されている。講義では、日頃自分自身が行っているトレーニングの効果を十分に発揮するために考えられる要因について再考するための知識を提案したい。また、実習を希望する場合には、身体の安定性や協調性を整えるために行うコアピリティトレーニングやコーディネーショントレーニング等を利用して、自身の身体状況を評価し、改善や強化の方法について学習する。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	講義では （例：休養のとり方） 成長ホルモンの分泌を促す運動と睡眠 右図（左）はトレーニングの質が成長ホルモンの分泌量に影響することと、右図（右）は、夜間睡眠中の成長ホルモンの分泌動態を示し、疲労回復やトレーニング効果に影響する因子となる。  右図（左）はトレーニングの質が成長ホルモンの分泌量に影響することと、右図（右）は、夜間睡眠中の成長ホルモンの分泌動態を示し、疲労回復やトレーニング効果に影響する因子となる。 実習では 右下図の様にパフォーマンスを数種類実施し、自己評価と他者評価により、身体のバランスチェックを行い、今後のトレーニングに生かす方法を身につける。  ※ 2人1組でパフォーマンスをチェック
対象生徒	運動部に所属する生徒（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）

テーマ名	コンピュータでことばを分析してみよう
担当教員	嶋田 和成 教授
学部：分野	共通教育センター（人文・社会科学系）
内 容	近年のコンピュータの発達によって、大量のことばを瞬時に分析し、様々なことばの特徴を語彙・語法・文法などの面から明らかにすることができるようになりました。この大量のことばを電子化したデータをコーパスと呼び、辞書や教科書の作成においても、コーパスの分析結果が役立っています。 本授業では、英語と日本語の話し言葉・書き言葉のコーパスを使用し、主に以下の3つの疑問に答えるための分析を行います。 1. 英語母語話者と日本人英語学習者の単語や表現の使い方は、どのように違うのだろうか。 2. 英語母語話者がよく使う単語や表現は、どの程度、英語教科書の内容に反映されているのだろうか。 3. 日本語の単語や表現の使い方は、話し言葉と書き言葉ではどのように違うのだろうか。 この授業でことばをコンピュータで分析することの面白さを感じ取っていただければと思います。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 コーパスツール ParaConc 1.0 を使った 英語と日本語の対照分析の例
対象生徒	全ての高校生（普通高校・専門高校）

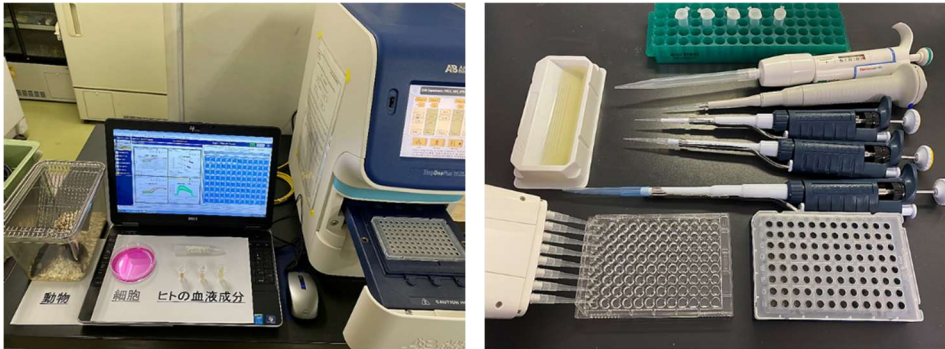
テーマ名	インターネットで英語はどこまで学べる？
担当教員	清水 尚 准教授
学部：分野	共通教育センター（人文・社会科学系）
内 容	いまや「あって当たり前」となったインターネット。そこには無料で供される各種教材もあまた存在し、既に英語学習にも役立てているという高校生諸君も少なからずいらっしゃることでしょう。また、高校によっては、生徒がいつでも自由に使える自習教材を、校内のネット端末に開放していたりもすることでしょう。 とはいえ、「色々あり過ぎて選べない」との嬉しい悲鳴も漏れ聞こえる昨今、「うちの学生には例えばこんなのを勧めていますけど…」といった風に、いくつかサンプルをご覧に入れたり、それらに疑似体験的に触れていただこうと思っています。総じて普段の英語の授業とは少し変わった時間になることでしょう。 ※大学見学では 情報科学センター上層階にあるPC教室にて、上述の各種教材を試用したり、本学が導入している自習教材を実地に体験することができます。 スマートフォンやタブレットの活用事例も少しだけご紹介します。
写真・画像	 
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

テーマ名	はじめてのアラビア文字 ― 文字を通して文化と歴史を知る
担当教員	俵 章浩 准教授
学部：分野	共通教育センター（人文・社会学系）
内 容	異文化への理解を深める重要な方法の一つは、その文化で使われている言語に触れることです。 本授業ではアジアから北アフリカまでの広い地域で使用されているアラビア文字に焦点を絞ります。アラビア文字はアラビア語に用いられているだけでなく、ペルシア語やウルドゥー語などの言語でも使われています。 この授業ではアラビア文字の基本を習得し、国旗や建築物などに使われている文字を識別できるようになることを目指します。 授業の流れは以下の通りです。 1. アラビア文字の基本的な規則を学ぶ 2. 簡単なアラビア語の単語を文字に分解する練習をする 3. 実際の国旗や建築物に使われているアラビア文字を識別する これらの活動を通じて、アラビア文字に親しみを持ち、その文字が使われている地域や国々の文化や歴史にも興味を広げてもらうことを目的としています。 ※大学見学では、同内容の授業を実施します。
写真・画像	 アラビア文字が使われている地域  アラビア語で書かれた写本
対象生徒	全ての高校生

テーマ名	「作者が言いたいこと」ではなく……
担当教員	西田将哉 講師
学部：分野	共通教育センター
内 容	一昔前の国語の授業では、先生が「作者が言いたいこと」という魔法の言葉を使って授業をしていました。「作者が言いたいこと」という言葉を出せば、その先生が話したことが正当性を持ったのです。 しかし、「作者が言いたいこと」なんて、ずいぶん怪しい言葉だとは思いませんか。例えば、いまだに授業で「作者が言いたいこと」を解説する先生がいたとして、その先生は作者本人に会って話を聞いたのでしょうか。直接会うのは難しいとしても、手紙かEメールで問い合わせて「作者が言いたいこと」を知り得たのでしょうか。作者が存命でない場合は……。だから、「作者が言いたいこと」は魔法の言葉なのです。 この授業では、いわゆる文豪（これも怪しい言葉ですが）の小説を読むことを通して、私たちは小説から「作者が言いたいこと」ではなく、何を読み取ればいいのかを考えます。
写真・画像	
対象生徒	すべての高校生

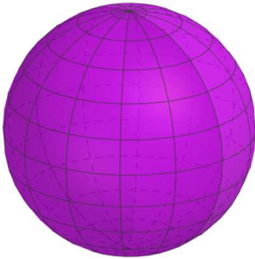
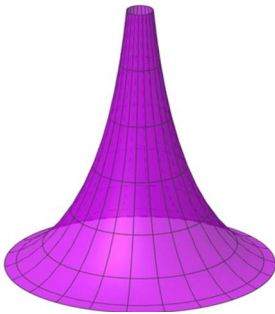
テーマ名	色が変わる実験
担当教員	加治屋 大介 教授
学部：分野	共通教育センター（自然科学，化学）
内 容	色が変わる化学実験の演示 宅配します。 高校生以上  小・中学生  以下のホームページの MISC 欄に，最近の実施例の一部を書いております。 https://researchmap.jp/7000028322
写真・画像	   学術誌のカバーに掲載されました
対象生徒	高校，中学，小学，幼稚園，一般

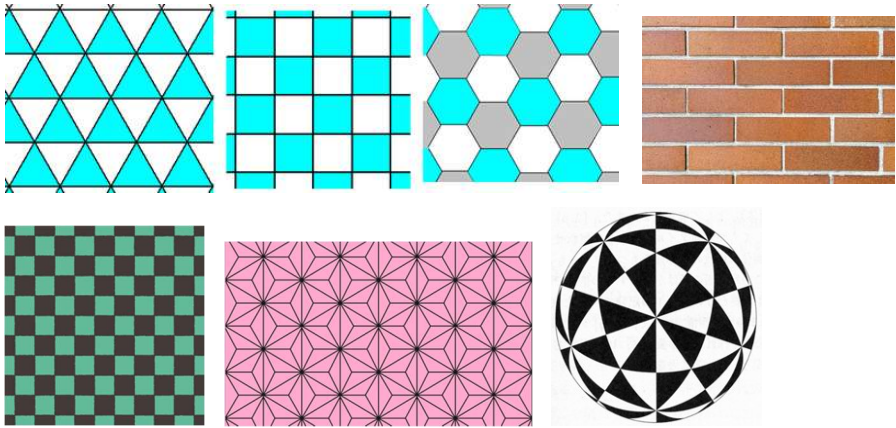
テーマ名	体験しよう！氷点下の世界：極低温における物質の状態変化
担当教員	高橋 大輔 教授
学部：分野	共通教育センター（自然科学系）
内 容	一般的に、物質の状態変化（例：気体-液体-固体）は、物質の持つ固有の「熱運動」が増減することでその自由度が変化することで生じます。 例えば、金属を冷却することで「金属内部の熱運動」の自由度が抑制され、電気抵抗が減少します。さらに、ある一群の物質では冷却により電気抵抗が完全に零となる超伝導状態が現れます。 本テーマでは、演示実験をとおり、「目で見て・考え・理解する」を信条として、特に、物質の持つ熱エネルギーを冷却により”奪う”ことで生じる物理現象（主に超伝導現象）を紹介します。 ※大学見学では 液体窒素（摂氏-196 度）を用い、バナナでの釘打ち、電気抵抗の温度変化および超伝導体の磁気浮上などを体験・実験できます。上述の通り、それぞれの実験は参加し体験することを主眼に行います。また、気体の状態変化に関係し、圧力と物質の状態をマシュマロなど身近なものを用いて実験し、理解できます。
写真・画像	 授業宅配授業の様子  大学見学会の様子
対象生徒	全ての中高校生（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）

テーマ名	お肉とお魚は、どっちが健康的？遺伝子検査・解析からこんなにわかる！
担当教員	須永 浩章 准教授
学部：分野	共通教育センター（自然科学系）
内 容	みなさんは、どんな食べ物がお好きでしょうか？ハンバーグやお寿司など、美味しい食べ物はたくさんありますね。私たちにとって「食べること=生きること」であり、食べ物の栄養素が私たちのからだに与える影響を知ることは、健康な生活を送るうえで、とても大事なことです。 近年は、工学・医学分野の研究技術が大変進歩しており、食べ物の栄養素の影響を「遺伝子」レベルで調べていくことができます。例えば、PCR（ポリメラーゼ連鎖反応）と呼ばれる検査方法は、遺伝子（DNA）を増幅させ、病気のかかりやすさに関係する遺伝子を検出することができます。この方法により、食べ物の栄養素と病気発症リスクとの関連を解析することができ、食事などの生活習慣の改善にも活かすことができます。 本講義では、「遺伝子検査・解析からわかること」をテーマとし、食べ物の栄養素が健康に与える影響について、細胞・動物・ヒトの検体を用いた最新の研究例を交えつつお話しします。そして、遺伝子検査で用いられる実験器具の使い方や、遺伝子の検査・解析の流れを体験してもらいたいと思います。 ※大学見学では 遺伝子検査で用いられる実際の装置を用いた実験を通して、遺伝子の検査・解析の流れや、得られた実験結果に対する考察の大切さを体験できます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 ・PCRなどの遺伝子検査・解析からわかることをお話しします。 ・ピペットなどの実験器具を使い、検査・解析の流れを体験してみましょう。
対象生徒	全ての中高校生（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）

テーマ名	勉強ってしなきゃダメですか？ ⇒ しなくてもいいと思うけど……………！！
担当教員	橋本 哲 准教授
学部：分野	共通教育センター 自然科学系
内 容	日本の初中等教育は、大量の知識を教え授ける教育から個性を伸ばし創造力豊かな知性を養う教育へと変化してきました。 さて、そういう教育を受けてきて、どうだったでしょう？ この問いの答えが分かるのはこれから何年か経った後のことだと思います。その時には、すでに社会の中にいて、伸ばした個性と養った創造力豊かな知性をフル活用して生きていかなければなりません。 高校を卒業してすぐに社会に出る人もいますが、その前に高等教育を受けるチャンス（大学・大学院への進学）があります。ところが、高等教育を受けるためには大量の知識を要するのです。 この講演では、タイトルの『……………！！』をお話して、豊かな人生を歩む為に必要なことについて考えていきます。そして、簡単な算数の計算から解る「お金の話」をします。 ※大学見学では 同程度の内容の講演を致します。
写真・画像	 授業宅配授業の様子
対象生徒	全学年（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）

テーマ名	柔らかい頭で“同じ”という概念を考え直してみよう
担当教員	松崎 尚作 准教授
学部：分野	共通教育センター（自然科学系）
内 容	2つの図形が与えられているとします。一方の図形を動かし、他方の図形にぴったり重ねることができる時、2つの図形は「合同」であるといい、一方の図形を動かし、拡大・縮小を許して他方の図形にぴったり重ねることができる時、2つの図形は「相似」といいました。合同と相似のいずれも、図形が“同じ”であることの意味を定めた概念と言えます。また、相似は、合同よりも大雑把な“同じ”の概念だと考えられます。合同と違い、相似では図形の大きさが無視されるからです。 では、図形に対し、もっと緩い“同じ”の概念を考えることができるでしょうか？ この授業では、数学的な対象である結び目を例に、合同・相似よりもずっと大雑把な“同じ”の概念を定め、考察していきます。（結び目とは、空間内にある多角形の一種で、感覚的に言えば靴紐を結んで、その端点を接着剤でくっつけて得られるような図形です。下図参照。） 実は、数学の多くの分野で、様々なレベルの“同じ”（厳密なものから大雑把なものまで）の概念が定められています。分野によっては、2つの対象が“同じ”かどうかを判定する問題が重要な研究対象になっており、未解決の問題も少なくありません。そもそも、モノを大雑把に把握することに意味があるの？ と思うかもしれませんが、あえて大まかに見ることで、細部を見ているだけでは分からなかった本質的な差異が明らかになることがあります。これは、普段の生活でも少なからず経験することではないでしょうか。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 “同じ” 結び目？
対象生徒	高校全系列の生徒（普通高校・工業高校・専門高校）

テーマ名	非ユークリッド幾何学入門
担当教員	棕野 純一 講師
学部：分野	共通教育センター（自然科学系）
内 容	幾何学とは図形を調べる学問です。数学で図形というと、中学校での3角形や円に関する数学の授業を思い浮かべる方が多いと思います。例えば、「直角3角形の底辺の2乗と高さの2乗の和が斜辺の2乗になる」というピタゴラスの定理や「三角形の内角の和が180度である」などを学んだと思います。このような中学校で学んだ幾何学は、ユークリッド幾何学といわれるもので、紀元前3世紀頃にユークリッドが書いた書物「原論」に基づいたものです。 長い間、幾何学といえばユークリッド幾何学でしたが、一方で疑念も持たれ続けていました。そして、ユークリッド幾何学以外の幾何学が存在するということが明らかになったのは、なんと19世紀でした。これは2人の数学者ロバチェフスキーとボヤイによって独立に発見されました。彼らの発見した幾何学である双曲幾何学では不思議なことに三角形の内角の和が180度未満になります。 2つの幾何学の違いの背景には、曲がり方を定量的に表した曲率の違いがあります。実は、ユークリッド幾何学は曲率がゼロの世界の幾何学で、双曲幾何学は曲率が負の世界の幾何学です。この2つの幾何学以外にももう一つ曲率が正の世界の幾何学もあり、これは2次元の場合では球面上の幾何学に当たります。実は、球面上で描いた三角形の内角の和は180度を超えます。3種類の幾何学に関して色々な現象が起きるのですが、この授業ではそれらの一端を紹介したいと思います。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 正の定曲率曲面  負の定曲率曲面
対象生徒	高校全系列の生徒（普通高校・工業高校・専門高校）

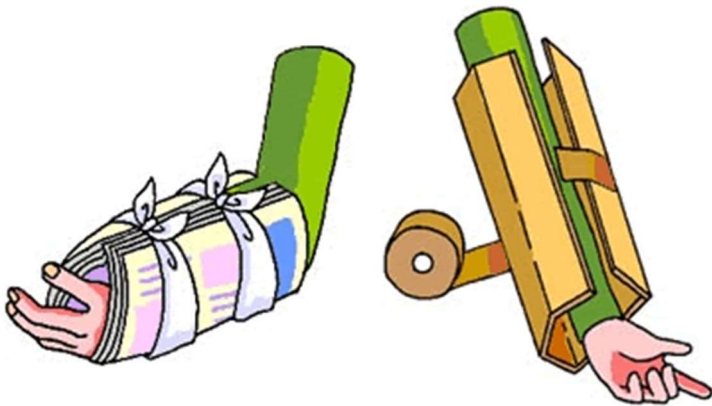
テーマ名	平面を敷き詰める模様の数学
担当教員	雪田 友成 講師
学部：分野	共通教育センター：数学
内 容	一番最初に習う図形に三角形がありますが、三角形には様々な種類があります。例えば、正三角形や二等辺三角形などです。正三角形と二等辺三角形を描いてみると正三角形の方がキレイな形に感じると思いますが、それは何故なのでしょう？ その答えは「対称性」と呼ばれるもので、私たちがキレイだと感じる図形に共通する性質です。 対称性は数学以外の分野にも現れています。その一例として、個体の構造の一つである結晶と呼ばれるものの研究があります。結晶というのは、原子や分子またはイオンが規則正しく配列しているのですが、その「規則正しく」という部分を表すのが対称性なのです。実際に数学のこういったものへの応用の一例として、材料科学の分野で研究されている砂田のK4 格子（ダイヤモンドや鉛筆の芯などの亜種）というものがあります。 本授業では、平面を敷き詰める図形をテーマに対称性について説明していきます。対称性は日常の中にも多く潜んでいますので、そういったものを題材にしながら授業をしていきます。
写真・画像	
対象生徒	高校生

テーマ名	(工学部)工業高校の先生になるには
担当教員	持田 雄一 教授
学部：分野	教職課程センター
内 容	(工学部) 工業高校の先生になるにはどのような知識・技術が必要か、どのような先生が学校や生徒から求められているかを説明します。
写真・画像	特にありません
対象生徒	教員志望の高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

テーマ名	(看護学部) 保健室の先生になるには
担当教員	池田 法子 講師
学部：分野	教職課程センター
内 容	近年、学校を取り巻く社会状況が急速に変化する中で、養護教諭に求められる役割の重要性は増してきています。例えば、児童生徒の身体的不調の背景にあるいじめや不登校、虐待などの問題にいち早く気づき、教諭とは異なる立場から対応していくことが求められます。また、発達障害をはじめとする様々な特別ニーズを抱えた子どもたちに寄り添いながら、場合によっては養護教諭が特別支援教育コーディネーターの役割を担うケースもあります。 この授業では、養護教諭になる方法や仕事の内容、働き方・キャリア等について解説します。養護教諭の養成課程を設置している大学は数多くあり、教育学部、心理学部、看護学部等で取得できますが、本学では看護学部において養護教諭一種免許状が取得可能です。本学で養護教諭の資格を取得する場合のカリキュラムや特色についても説明します。 これからキャリア選択をしていく入り口に立っているみなさんと一緒に、今後の進路や未来について考えていく機会にしたいと考えています。
写真・画像	 これまで医師・看護師の生涯キャリアヒストリーについて研究してきた成果をまとめた書籍です。
対象生徒	養護教諭志望の中学生・高校生

テーマ名	備える 防災・減災対策として救急救命法を学ぼう
担当教員	青山みどり 教授 渡邊 佳奈 助教
学部：分野	看護学部 成人看護学
内 容	地震・災害の多い状況にありますが、日頃から緊急時に備えることは、減災や防災につながります。テレビ等の情報を得て、対応策を知っていても、いざという時には、なかなか行動できないものです。いざという時にこそ、勇気が必要です。日ごろから、災害時に備え、救急救命法等を繰り返し練習しておきましょう。いざという時に、きっと役に立ちます。 実施方法の解説したあと実際に想定し、早期発見から、緊急通報、実施、搬送までを実際に行ってみましょう。 周囲への声かけ、協力要請の仕方、AED を使用した救急対応の練習をしましょう。 緊急時に使える緊急アプリを使ってみましょう。 備えておきたい救急物品などを紹介します。 *大学見学では、 モデル人形や AED を使って救急蘇生法を練習します。 ひとり実施の場合と、2～3 人で実施の場合を、体験します。 AED の設置場所を、探索してみます。
写真・画像	
対象生徒	全中・高校生

テーマ名	備える 防災・減災対策として災害リュックの中身を使ってみよう
担当教員	青山みどり 教授 渡邊 佳奈 助教
学部：分野	看護学部 成人看護学
内 容	地震・災害の多い状況にあります。日頃から緊急時に備えることは、減災や防災につながります。自宅に常備している、または災害時のために常備した「災害リュック」の中身を見てみましょう。 日ごろから、通学バッグに入れておくといいものは何か、考えてみましょう。必見、医療用の救急物品を紹介します。 さまざまな災害を想定して日ごろから、備えておくといいもの、必要なもの、意外に役立つかも！？なものを紹介・解説していきます。 *大学見学では 実習室で、災害リュックの中身を確認します。実際に触ってみましょう。 身近なものを使って、災害時に役立つ豆知識を実践してみましょう。
写真・画像	 
対象生徒	全中・高校生

テーマ名	備える 防災・減災対策として災害時の手当について学んでみよう
担当教員	青山みどり 教授 渡邊佳奈 助教
学部：分野	看護学部 成人看護学
内 容	地震・災害の多い状況にありますが、日頃から緊急時に備えることは、減災や防災につながります。 災害時の怪我、急病に対する応急処置を学んでみましょう。 災害時の応急手当は命を守るために誰でもできる基本的な知識です。 出血や骨折、やけどなど状況に応じて処置ができるよう学んでみましょう。 ＊大学見学では 医療用救急カートの中身を紹介します。 応急手当の実際について、止血・骨折時の手当のポイントを解説しますので学んで実践していきましょう。
写真・画像	
対象生徒	全中・高校生

テーマ名	謎解きから始まる“看護”の世界 ～床ずれってなんでできるの？を科学する～
担当教員	齋藤みどり 教授
学部：分野	看護学部：地域・在宅看護領域
内 容	「高齢者や寝たきりの人には床ずれができやすい」 そんな話を聞いたことはありませんか？ でも、ちょっと不思議じゃありませんか？ ただ寝ているだけなのに、どうして皮ふが傷ついてしまうのでしょうか？ 実はそのカギを握っているのは… 血液の流れ なんです。 血液って、何を運んでる？ 細胞って、何を受け取ってる？ この仕組みを知れば、床ずれの“なぜ”がスルスルと解けてきます。 「なるほど！」と気づく学びが、きっと看護の面白さに変わります。 本学では、在宅で生活する方々への看護援助を モデル人形 を使って実際に体験できるプログラムをご用意しています。 聴くだけでなく、見て、さわって、やってみるからこそ伝わるリアルな看護の世界。医療や福祉に興味がある高校生はもちろん、進路に迷っている生徒にも、「体験を通して将来が見えてきた」と好評をいただいています。 高校の先生方へ 看護・福祉・生物・家庭科など、さまざまな教科とつながる内容です。 出前講義や体験学習もご相談いただけますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。
写真・画像	
対象生徒	すべての高校生・中学生

テーマ名	リラクゼーションを促す技術:アロマセラピー
担当教員	佐藤栄子 教授、鈴木明美 准教授、茂木英美子 講師、渡邊佳奈 助教
学部：分野	看護学部：成人看護学
内 容	みなさんは「アロマセラピー」という言葉を聞いたことがありますか。 アロマセラピーとは、植物から抽出されたエッセンシャルオイル（精油）を利用して心身の健康を促進する自然療法の一つです。この療法は、香りのもたらす影響を活用し、リラクゼーションやストレス軽減、さらには身体の不調の改善を目指すものですが、古代から多くの文化で用いられており、現代においてはその効果が見直され、医療の分野でも広く用いられるとともに効果が実習されています。 日常の中にあるリラクゼーション法がなぜ医療の分野で効果的な働きをしているのか、そのメカニズムを学びましょう。そして、アロマセラピーを体験し、みなさんの日々の生活にも穏やかな効果をもたらすことを期待しています。 ※大学見学では 実際のアロマセラピーを体験していただきます。 前後に、脈拍・呼吸・血圧などを測定し変化を見てみましょう。また、気分の変化を体験しましょう。
写真・画像	 
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

テーマ名	生活習慣病と予防に効果的な運動習慣
担当教員	佐藤栄子 教授、鈴木明美 准教授、茂木英美子 講師、渡邊佳奈 助教
学部：分野	看護学部：成人看護学
内 容	生活習慣病とは、食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒など生活習慣が、発症・進行に関与する疾患群であり、がん（悪性新生物）、心疾患（狭心症や心筋梗塞などの心臓病）、脳血管疾患（脳梗塞やくも膜下出血などの脳の病）などの病気が含まれます。医療の高度化や人口の高齢化に伴い、このような生活習慣が病気の土台になっている状況が指摘されています。 ① 生活習慣病について、基礎的な知識を学びましょう。 ② ラジオ体操・座ってできる有酸素運動など：どこでもできる運動ミニ講座を出張して開催します。 ※大学見学では 実際に、運動を行ってみましょう。前後に、脈拍・呼吸・血圧などを測定しましょう。
写真・画像	 
対象生徒	全ての高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

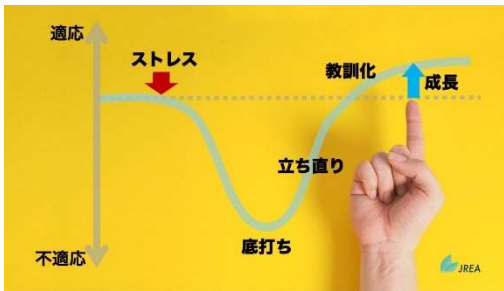
テーマ名	看護師の仕事に触れてみませんか。
担当教員	中村史江教授 末永弥生教授 小谷千晴 講師 鈴木早智子講師
学部：分野	看護学部：基礎・看護管理学
内 容	※看護技術の体験 看護師は、患者さんの身体の状態を観察することが大切な仕事です。観察する看護技術のひとつに「脈拍測定」があります。脈拍測定を通して、心臓や血管の健康状態、体調など、患者さんの身体の状態を推測し、必要な援助の判断につなげます。自分たちの手やささまざまなシミュレーション教材を活用しながら、脈拍測定や、聴診器で心臓や呼吸の音など、身体の中の音を聴いてみる体験をしてみませんか。 ※大学見学では 本城キャンパスの基礎看護実習室には、看護に必要な「看護技術」を修得するための教材が完備されています。医療用具やモデル人形に直接触れて、看護の体験ができる見学を計画し、皆様をお待ちしています。
写真・画像	
対象生徒	全ての高校生

テーマ名	キラリ！看護の仕事と医療安全	
担当教員	中村 史江 教授	
学部：分野	看護学部：基礎・看護管理学	
内 容	看護職は国家資格を持つ専門職です。そして、看護職はさらに感染管理やがん看護などの認定看護師や専門看護師、認定看護管理者と言われる専門分野ができ、より専門性の高いやりがいのある仕事になってきています。 授業宅配便では、活躍の場が広い看護職の仕事や長く働ける働きやすい環境でやりがいのある仕事についてわかりやすくお話しします。また、看護師の仕事の基になり在宅でも役に立つ医療の安全について、スライドを見て経験したり、2人で聴く聴診器を使ったり実際に体験して学んでいきます。 ※大学見学では 医療の安全の視点から、基本的なアルコール手指消毒方法から輸液ポンプ・シリンジポンプの医療機器を使用した点滴の管理方法について実際に触れて体験することもできます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。	
写真・画像		
対象生徒	すべての高校生	

テーマ名	看護専門職「保健師」の仕事とは？
担当教員	沼田加代 教授
学部：分野	看護学部：公衆衛生看護学
内 容	看護専門職は「保健師・助産師・看護師」の3職種があります。この3職種のうち、保健師という職種はあまり知られていないかもしれません。 保健師は「ゆりかごから墓場まで」つまり乳幼児から高齢者までの幅広い方々を対象に、健康な方から病気療養中の方まで健康レベルも様々な方々の「健康支援」を行っています。 日本人は生まれ育った地域や仕事や家庭生活を営む地域を大切にしています。住み慣れた地域で健康に過ごすことは願ってもしないことです。 その人らしく健康に、その人が望む地域で暮らすことができるように支援する看護専門職「保健師」の活動を解説します。 ※大学見学では 保健師は直接ご自宅におうかがいし、対象者に必要な支援をご家族に提供しています。このことを「家庭訪問」といいます。赤ちゃんの家庭訪問を想定し、ばねばかりを用いた体重測定やメジャーを用い頭や胸の大きさを測り、ご家族とともに元気にすくすくと育つ赤ちゃんの成長を見守る保健師の活動の一部を体験できます。
写真・画像	 赤ちゃんの体重測定中です。  保健師が家庭訪問の際に持参する「訪問カバン」です。
対象生徒	看護職を目指す高校生（普通高校・工業高校・専門高校）

テーマ名	災害と感染症対策を担う保健師の役割														
担当教員	沼田加代 教授														
学部：分野	看護学部：公衆衛生看護学														
内 容	看護専門職のうち、保健師による災害支援と感染症対策の講座になります。 近年、未曾有の大規模災害が日本各地で生じており、日頃からの災害の未然防止、発生時の備え、そして、災害時の支援、さらには災害後の復興支援が重要です。 災害発生時には避難生活が必要となります。避難生活は集団生活となり、新型コロナウイルスなどの感染症が発生しやすい状況となります。 防ぐことができない自然災害が生じて、人々の生命と生活を脅かし、住み慣れた地域で過ごすためには、避難生活で生じがちな感染症対策も求められます。保健師による、災害と感染症対策の実例を解説します。 ※大学見学では 災害時は、医療従事者も地域の人々と協働しながら私たちの生命と日々の暮らしを護ることが大事になります。災害と感染症について、今、高校生の皆さんが獲得している知識とこれから大学で学ぶ知識を重ねて、災害による健康被害を少なくするために何が日頃から必要か、また、災害が発生した時には、どう行動すると良いのか、一緒に考えていきましょう。														
写真・画像	コロナ感染症時代の災害支援 ☞ 複合災害 (地震・豪雨など) <table><tr><td>避難所 3蜜</td><td>自治体間の 連携</td><td>住民個々の 備え</td><td>災害発生 在宅避難</td></tr><tr><td>備蓄</td><td>感染者との 接触を回避 部屋の確保</td><td>日常生活上 の感染対策</td><td>避難所と 福祉避難所 の所在把握</td></tr></table> 災害と感染症について考える <table><tr><td>原発風評被害 医療従事者 の偏見</td><td>高齢者の孤独・ 仮設住宅の 孤独死</td><td>高齢者が トイレ移動難 ・脱水</td></tr><tr><td>高齢者 フレイル・ 低栄養</td><td>特定健診の結果 の悪化</td><td>子どもの肥満</td></tr></table> ☞ コロナ禍の災害 分散避難・孤立や支援の遅れ 災害と感染症による健康障害	避難所 3蜜	自治体間の 連携	住民個々の 備え	災害発生 在宅避難	備蓄	感染者との 接触を回避 部屋の確保	日常生活上 の感染対策	避難所と 福祉避難所 の所在把握	原発風評被害 医療従事者 の偏見	高齢者の孤独・ 仮設住宅の 孤独死	高齢者が トイレ移動難 ・脱水	高齢者 フレイル・ 低栄養	特定健診の結果 の悪化	子どもの肥満
避難所 3蜜	自治体間の 連携	住民個々の 備え	災害発生 在宅避難												
備蓄	感染者との 接触を回避 部屋の確保	日常生活上 の感染対策	避難所と 福祉避難所 の所在把握												
原発風評被害 医療従事者 の偏見	高齢者の孤独・ 仮設住宅の 孤独死	高齢者が トイレ移動難 ・脱水													
高齢者 フレイル・ 低栄養	特定健診の結果 の悪化	子どもの肥満													
対象生徒	看護職を目指す高校生（普通高校・工業高校・専門学校）														

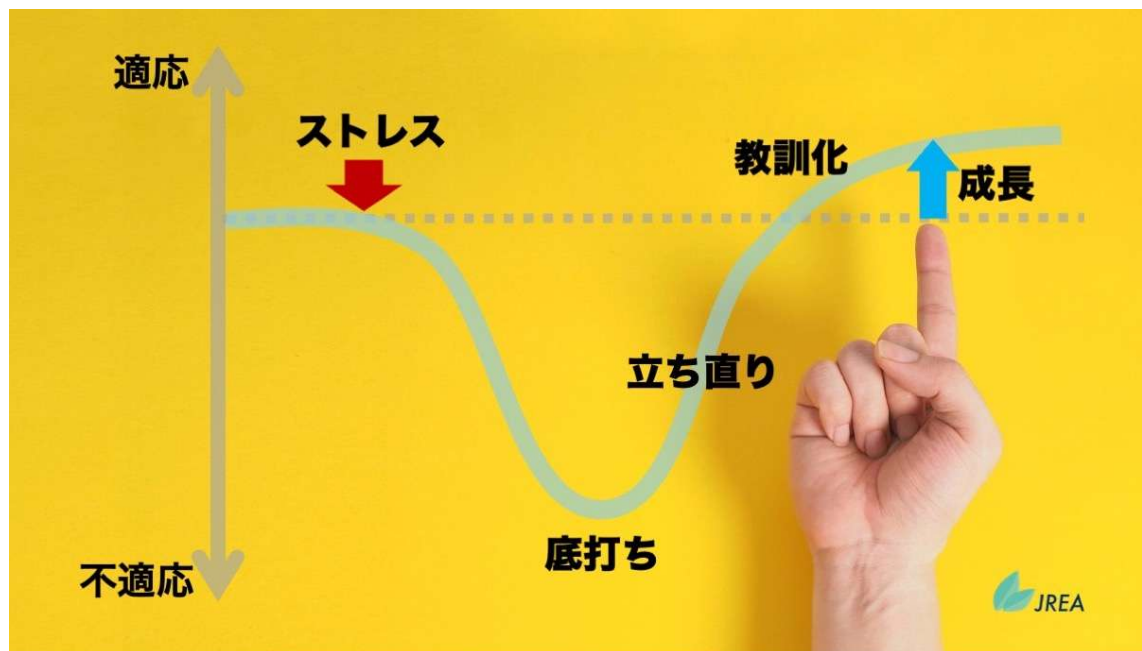
テーマ名	アサーショントレーニング	
担当教員	富山 美佳子 准教授	
学部：分野	看護学部：精神看護学	
内 容	アサーション(assertion)は、主張・断言などと和訳されますが、日本語としては少し強い表現という印象があるためアサーションの本来の意味にそぐわず、アサーションと和訳せずに言ったり、「(さわやかな)自己表現」¹⁾といたりしています。 アサーティブな自己表現とは、自分の気持ちや考えを相手に伝え、また同時に相手のことも配慮する方法で、自分も相手も大切に自己主張の方法です。 しかし、どんなにアサーティブに表現したとしても、それが相手に受け入れられるとは限りません。お互いが率直な意見を出し合い、相手の意見に賛同できない場合でも、そのときに攻撃的に相手を打ち負かしたり、非主張的に相手に合わせたりするのではなく、お互いが歩み寄って一番いい妥協点を探ることがアサーティブなあり方です。 ※大学見学では それぞれが自身のコミュニケーション体験をグループワークを通して振り返れる授業です。 1) 平木典子『改訂版 アサーション・トレーニング - さわやかな〈自己表現〉のために』（日本・精神技術研究所、2009年）	
写真・画像	スッキリさん あなたの言っていることはこうなのね。 私はこうしたいと思う。 自分の思いや考えは、いつも相手と同じ とは限らないけど...	
対象生徒	中・高校生（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）	

テーマ名	災害を乗り越える力、レジリエンスを高めよう
担当教員	富山 美佳子 准教授 宮武陽子 講師
学部：分野	看護学部：精神看護学
内 容	レジリエンスとは、日本語で「回復力」「復元力」「弾力」などと訳される言葉で、困難やストレスに直面した際に立ち直り、適応する能力を指します。 災害は人々の生活や社会に大きな影響を与える出来事です。 突然、逆境や困難に直面した際に、心の状態を保ち、ストレスにうまく適応しながら成長していく能力でもあるレジリエンスは、トレーニングやワークを通し高めることが可能です。 体験学習（ロールプレイ）を通して、実践的に感じながら学べる授業です。
写真・画像	 引用：日本レジリエンスエデュケーション協会 https://jrea.site/resilience/
対象生徒	中・高校生（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）

災害を乗り越える力、レジリエンスを高めよう

レジリエンスとは、日本語で「回復力」「復元力」「弾力」などと訳される言葉で、困難やストレスに直面した際に立ち直り、適応する能力を指します。

災害は人々の生活や社会に大きな影響を与える出来事です。突然、逆境や困難に直面した際に、心の状態を保ち、ストレスにうまく適応しながら成長していく能力でもあるレジリエンスは、トレーニングやワークを通し高めることが可能です。



引用：日本レジリエンスエデュケーション協会 <https://jrea.site/resilience/>

テーマ名	子どもは大人とどう違うの？ 子どもと大人の体のしくみの違いを体験してみよう！
担当教員	松井貴子 准教授
学部：分野	看護学部：小児看護学
内 容	看護は、今の体の状態を知るために観察をし、得られた情報から「どのように看護するか」を考えていきます。観察する看護技術の一つに「脈拍測定」がありますが、小さな子どもは、体の大きさだけではなくその機能も大人と異なることから、測定方法が大人とは違ってきます。小児看護では、「脈拍測定」を「心拍聴取」で観察するため、子どもに適した方法・内容で観察することを学びます。子どもならではのかわいいグッズを使う工夫もしています。皆さんもシミュレーターモデルの心拍を聴診器で聴いて、自分の体と子どもの心拍の違いを体験してみませんか。 （シミュレーターモデルは充電式ではないので、コンセントが必要になります） ※本城キャンパスの小児看護実習室では、小児看護の特殊性を理解できるよう小児専用の入院ベッドや保育器、年齢の異なるモデル人形やシミュレーションモデル等、様々な看護技術を習得するための教材が完備されています。医療用具やモデル人形に直接触れて、小児看護が体験できる見学を計画し、皆様をお待ちしております。
写真・画像	   
対象生徒	全ての高中生を対象

テーマ名	1. 子どもの成長を体験してみよう！ 2. 子どもの身近に潜む危険を知ってみよう！
担当教員	松井貴子 准教授
学部：分野	看護学部：小児看護学
内 容	1. 小児看護学では、子どもが大人になっていくプロセスを「発達」と表現します。発達のプロセスでは、体の大きさだけではなく、「首が座る」「寝返りができる」「お座りができる」などを経て、歩いたり走ったりできるようになります。この発達の実際を知るために、大学では様々なシミュレーションを使い、発達の実際を学習します。生まれたばかりの赤ちゃんシミュレーションを抱っこすることで、大きさや発達を体験してみましょう。 2. 子どもが大人になっていく過程では、身の回りに様々な危険が潜んでいます。自分で危険を避けられない小さな子どもを守るため、口の中に入れられてしまうものの大きさを確認することができる「チャイルドマウス」を作成して、どんな危険が子どもの身の回りにあるか体験してみましょう。 ※時間等の関係でそれぞれでも実施可能ですが、1つだと物足りないと思い2つの内容を入れて作成してあります。 ※本城キャンパスの小児看護実習室では、小児看護の特殊性を理解できるよう小児専用の入院ベッドや保育器、年齢の異なるモデル人形やシミュレーションモデル等、様々な看護技術を習得するための教材が完備されています。医療用具やモデル人形に直接触れて、小児看護が体験できる見学を計画し、皆様をお待ちしております。
写真・画像	
対象生徒	全ての高中生を対象

テーマ名	高齢社会の今とこれから～日常ケアに込める専門性とやりがい～
担当教員	村上 弘之
学部：分野	看護学部：公衆衛生看護学分野（老年看護学実習担当）
内 容	日本は今、世界でもトップクラスの超高齢社会。あなたの身近な高齢者の生活を支えることが、これからの社会にとってますます重要になっています。高齢者ケアの中心は「食事」「入浴」「排泄」など日常生活の世話です。でも、この「何気ない日常」を支えることこそが、高齢者の尊厳と生きがいを守る大切な仕事なんです。 この授業では、日常のケアに専門的な視点がどう活かされるのか、どんなやりがいがあるのかを具体的に紹介します。認知症の方への声かけ一つとっても、専門知識があるかないかで大きく変わるんですよ。 「ただの世話」と思われがちな高齢者ケアには、実は深い専門性と大きなやりがいがあります。一人ひとりの生活史に寄り添い、その人らしい生活を支える——そんな仕事の魅力を一緒に考えてみませんか？ あなたの優しさと思いやりが、専門性を身につけることでもっと輝きます。超高齢社会の担い手として、ぜひ高齢者ケアの世界をのぞいてみてください。 ※大学見学では 簡単な体験では、身近なものを使って高齢者の日常を体感。お箸で豆をつまむ体験や、セロハンを重ねたメガネで見える世界を通して、ケアの必要性を実感できます。
写真・画像	 
対象生徒	すべての高校生

テーマ名	柔らかな心を目指す 認知療法トレーニング
担当教員	宮武 陽子 講師
学部：分野	看護学部：精神看護学
内 容	身体の健康を保つために、多くの人が体力づくりのトレーニングを行っています。身体の健康を保つためにトレーニングするのであれば、心の健康を保つためのトレーニングがあってもいいはずです。 心の健康を保つだけでなく、心の健康を回復することまでを助けてくれる方法のひとつに認知療法トレーニングがあります。トレーニングを進めていくことで、物事に対していろいろな捉え方ができるように、どんなことが起こっても向き合える柔らかい心を育むことを目的としています。自分の考え方の「クセ」に気づき、少しでも考えの幅を広げ、生きやすさを見出せると良いと考えます。一緒に学んでいきましょう。 ※大学見学では、個人ワーク、グループワークを通し、体験授業を実施していきます。 1) 竹田伸也『マイナス思考と上手につきあう 認知療法トレーニング・ブック セラピストマニュアル』（遠見書房、2012 年） 2) 竹田伸也『マイナス思考と上手につきあう 認知療法トレーニング・ブック』（遠見書房、2012 年） 3) 竹田伸也『ストレスマネジメント授業プログラム「心のメッセージを変えて気持ちの温度計を上げよう」』（遠見書房、2015 年）
写真・画像	  授業の様子
対象生徒	中・高校生（普通高校・工業高校・専門高校・中学校）30 名程度

テーマ名	看護師にとって最も基本的な技術に触れてみよう！
担当教員	鈴木 早智子 講師
学部：分野	看護学部：基礎・看護管理学
内 容	皆さんは自分の身体のことを考えたことはありますか。そしてどのくらい知っているでしょう。看護師は、患者さんの身体状態を観察することが大切です。看護技術のひとつに「脈拍・血圧測定」があります。脈拍・血圧とは、私たち人間にとって、どのような意義をもっているのでしょうか。 看護師は、脈拍・血圧を測りながら、どのようなことを判断し、推測するのでしょうか？一緒に考えてみましょう。また、心臓や肺のしくみを理解し、自分たちの手やささまざまなシミュレーション教材を活用しながら脈拍・血圧測定や、聴診器で心臓や呼吸の音を聴いてみる体験をしてみましょう。 ※大学見学では 本城キャンパスの基礎看護実習室には、看護を成り立たせるために必要な「看護技術」を修得するための教材が完備されています。医療用具やモデル人形に直接触れて、看護の体験ができる見学を計画し、皆様をお待ちしています。
写真・画像	  
対象生徒	全ての高校生

テーマ名	いのちを育む人々を支える ～母性看護にふれてみよう☆～
担当教員	横山文子 助教
学部：分野	看護学部：母性看護学
内 容	母性看護学は、女性の生涯にわたる健康を支援する学問分野です。その中でも妊娠・出産・育児は、女性やその家族にとって貴重なライフイベントとなっており、私たち看護専門職者には、幅広い知識と高度な技術が求められます。 授業宅配では、胎児モデルに触れながら、子宮の中で育つ赤ちゃんの重さや大きさを体感できます。そして、「いのちを育む人々を支える看護」について、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。 ※大学見学では 母性看護学実習室には、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の対象に適した看護技術を修得するための教材が完備されています。シミュレータやモデルに直接触れて、母性看護の一部を体験できます。 ※リモート授業（遠隔）も可能です。
写真・画像	 胎児モデル：子宮の中で育つ赤ちゃん  母性看護学実習室
対象生徒	すべての高校生